京城日報

十三日夕刊

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金參圓七拾錢（郵送料共）
廣告料 五號活字一行金五拾錢 ▲特別位置は二割增
發行兼編輯人 奧山直之介 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社 電話 編輯用 營業用 振替貯金口座 京城

◎伍氏外交總長確定

支那衆議院は十一日伍廷芳氏の外交總長就任案を大多數にて通過せり斯くして支那の外交總長確定したる譯なり伍氏は十三日上海發上京すべし（北京特電）

◎馮副總統就任祝賀會　南京日支倶樂部に於て

馮國璋氏が副總統に擧げられたるに對し南京日支倶樂部は十日馮氏及び夫人を招きて祝賀會を開きたり席上高橋領事は祝辭を述ぶると共に日支親善の意を演説したるに馮副總統は熱烈なる口調を以て日支兩國は親善なる能はざる理由なく必ず親善すべきものなり余は全力を傾けて此の方針を實現せんとす諸君此の事に關しては余に信頼せられ度しと述べ大に其の誠意を披瀝したり（南京特電）

◎米國對獨方針急變か　潜航艇戰に就き或る行動を執らん

ウイルソン大統領は近く紐育に歸る船にて歸來直ちに米國汽船の撃沈を食ひし潜航艇戰に就き何等かの行動を採るべし一部官邊の觀測に依れば右は米國の對獨方針に急激なる變化を見る前觸れならんとあり（紐育電報）

◎ウ氏大統領再選の結果　獨逸系米人會社の失意＝獨探の失敗

華盛頓來電＝七日の大統領選擧の結果彼の獨逸系米人會社は第一に伯林政府に忠順なるべしとの豫想を根底より覆すに至れり偏頗なき人々の意見に曰く今回の選擧は獨探の敗北にしてウヰルソン氏は今回の勝利に依りて以前よりも一層强硬なる政策を採るに至るべしと（紐育電報）

◎ヒユーズ氏の敗因

ヒユーズ氏の敗因は加州に於ける共和黨の內訌に基けり（紐育電報）

◎露國十八歳兵徴集

露國政府は十八歳の壯丁を現役兵として徴集し就役せしむるに決せり（紐育電報）

◎英軍塹壕千碼を占領

ヘーグ將軍十一日夜發表の公報に曰く我軍は十月二十一日占領せる敵の塹壕と聯絡せるレギナ塹壕の東部に對し障碍物を冒して突撃し巾一千碼を確實に占領し捕虜若干を獲たり（紐育電報）

◎帝國麥酒の光榮

門司市外大里の帝國麥酒株式會社は十三日朝　天皇陛下より海江田侍從御差遣の光榮に浴せり（門司特電）

◎皇室豫算協議

皇室豫算會議は十三日午前十時宮內省にて開會午後に亘り協議する所ありたり（東京電報）

◎議會開院式期

第三十八帝國議會開院式は多分來る十二月廿七日擧行さるゝ可し（東京特電）

◎海軍大將榮進者

來る十二月一日を以て發表さるべき海軍大異動進級中新たに大將の榮職に昇進すべきは現第一艦隊司令長官吉松中將及び横須賀鎮守府司令長官藤井中將の二將官たる前者は陸進と共に現職に止まるべく後者は軍事參議院に入るべしと（東京特電）

◎李堈公御歸京

立太子式參列の爲め東上中なりし李堈公殿下は十三日午前八時五十分南大門驛着列車にて御歸京ありたり

◎兒玉伯動靜

內閣書記官長兒玉伯は十三日午前京龍內各官衙を訪問の後鐵道局に於て大屋長官との間に事務の引き繼を爲せるが正午朝鮮ホテルに歸り伯の親戚關係者並に親近數十名を招き午餐會を開けり午後は更に官衙を訪問告別の後六時より鮮銀、東拓、朝郵、三井等の主催にかゝる千代本の送別會に出席す

□寺內前總督に優諚

寺內伯爵は曩きに內閣組織の大命を拜するや宮中の御召に依り參內せるに天皇陛下には伯前任の功勞を思召され特に左の優諚なる勅語を賜へり

勅語

卿曩ニ韓國ニ統監タリ局ニ併合ニ當リ遂ニ朝鮮總督ニ任セラレ勵精治ヲ圖リ府政緒ニ就キ民俗化ニ向フ朕深ク卿カ多年經營ノ績ヲ嘉ス

乃ち寺內首相は今回兒玉書記官長の渡鮮を期とし伯に命じて特に總督府職員に對し此の勅語を傳へしむる處ありたり

▲五百圓を寄贈す　兒玉伯は滯京中に於ける官民有志の厚情に對し遺憾ながら一々應酬の暇なきを以て其の微衷の一端を表せんが爲め十三日朝濟生院並に京城內鮮人各學校に向つて五百圓を寄贈適宜の用途に充てられたしと申し出たり

▲官房高等官張宴　總督府官房內高等官は十二日午後八時より千代本に於て兒玉伯を招待送別を兼ね榮轉祝賀の宴を張れり、當日の出席者は荻田局長事務取扱、久芳、郡山、入江、鷲尾、和田、林、今村各事務官等十數名なりき

▲官民有志の張宴　朝鮮銀行、東洋拓殖會社、朝鮮郵船會社、三井物産東亞煙草等發起となり十三日午後六時より入京中なる兒玉伯を千代本に招待送別會を開催の筈なるが總督府內各部長官、局長、所屬官署の長李王職主要職員、白水軍參謀長等も列席す可し

▲出發期　事務引繼其の他の用務を帶びて入京中なりし內閣書記官長兒玉秀雄伯は既記の通り夫人同伴同十四日午前八時三十分南大門驛發汽車にて退京の事となれり

◎司令官東上期

陸軍大演習陪觀の爲め福岡に在る秋山駐剳軍司令官は來る十七日福岡發東上の途に就き十九日東京著の豫定也と

◎城法院長管內視察

京城覆審法院長は管內視察の爲め十三日午前八時三十分南大門驛發列車にて公州方面へ向へり

◎上林道長官出發

上林忠南道長官は家族を引纏め十三日午前八時三十分南大門驛發列車にて任地公州へ向け出發せるが驛には總督府官吏其他鮮人等の見送盛なりき

◎松永道長官出張

松永京畿道長官は十四日利川郡長湖院にて開會の農産物品評會に列席のため車田事務官、後藤書記其他を隨へ同日早朝自動車にて同地に向ひ夫より驪州に向ひ一泊十五日同地に開會の郡參事諮問會に臨みたる上再び利川に引返し十六日龍仁郡にて開會の講習所を視察し當日歸任の豫定

◎今津技師の溫泉調査

京都に於ける化學工業視察のため出張中なりし中央試驗所今津技師は先月二十一日釜山に上陸し豫定の如く南鮮地方のラヂユーム調査を行ふことゝなり先づ東萊溫泉より順次北行して目下南鮮各地の溫泉所在地を踏査中なり來る十五六日京城通過平安南北道方面の調査に赴く由にて歸任は月末なるべしと

◎牧野虎次氏入京

京都同志社大學教授牧野虎次氏は滿洲視察を終へて歸任の途上十三日午前八時を以て入京十四日午後七時より南米倉町京城基督敎會にて開催の講演會に出席一場の講演をなす由にて多數來聽を希望する由

◎鮮銀新派出所

朝鮮銀行にては北滿に於ける業務の進展に伴ひ今回哈爾賓に近き傅家甸に新設派出所を來る十二月一日より開設する事に決したりと同派出所は哈爾賓支店の所管に屬する由

◎地方地査委員會

十三日以降近く行はるべき地方土地調査委員會は左の如し

▲全北 南原十五日、任實十六日▲全南 靈光十八日、羅州十四日、長城十五日、順天十六日▲黃海 信川十四日、松禾十五日、海州十七日、瑞興十八日

◎京畿幹部會議

京畿道廳幹部及び警務部幹部は十三日午前十時松永長官室に會同事務の聯絡其他に關し打合をなす所ありたり

◎德富監督出發

德富本社監督は十三日午前八時三十分南大門驛發列車にて出發歸東したり

◎南浦經濟狀況

南浦市場は十月に入り漸次活況を呈し來り小麥大豆等出廻り旺盛を極め內地相場騰貴の有樣にて注文輻湊し大豆は三井物産鈴木商店等買入に著手したる爲め月初め七圓三十錢のもの月末に至り八圓二十錢迄買進み競爭激甚を加へたり米も東京方面より玄米大阪市場より白米の注文相當入込み相場も割高にて當業者は貸出し積送りに應接の遑なく只船便不足を告げ如何ともする不能又大連方面にも相當輸出を見るも長春以北は輸送困難のため一時旺盛なりし哈爾賓行も全く中絶の姿となり此外本年は米棉輸送困難なるため內地作柄の不良及び惡疫の流行のため棉輸入杜絶の影響を受けて綿價亂調の有樣にて當地方在來種の品質良好なるため大邱鈴木綿工場及木浦方面より棉の買付に入込み未曾有の相場を現出し取引額も相當額に達し近來稀なる珍現象を呈し地方特産物の一として漸く注目を引かるゝに至れり一方輸移入方面にありては穀類豐作の影響を受け賣行一般に宜しく殊に綿糸布金巾類暴騰のため各地當業者は仲買取引行はれ何れも先高を豫想して容易に手離さゞりしが段々需要期に入り漸次荷動を見るに至れり要するに市況上述の如くなるを以て愈々活況を帶び金融自然繁忙裡に越月せり今鮮銀南浦支店十月末帳尻を見るに預金現在三七三七九〇圓貸出一一四六二一〇圓にして平農支店貸出三八七四七圓預金三三二九八一圓なりと（平壤）

平壤

▲商業會例會　平壤商業會議所にては十一日午後六時より例會を開催し横田虎之助氏當番幹事として開會を宣し諸般の報告ありて後十週年記念メタルを會員に配布し尚前久保田幹事長藤田前幹事に記念品贈呈の件を議し十二月二十三日忘年會を催す事とし十時散會せり▲三郡學校展覽會　黃州、鳳山、瑞興三郡各公立學校聯合敎育成績品展覽會は三郡聯合農産物品評會を機とし本月一日より十日間黃州邑元守備隊將校官舍內に於て開催せしが出品點數習字七百九十三作文四百六十八圖畫六百七十四手工四百三十三手藝及び裁縫品百六十七參考品七合計二千五百四十二にして就中手工並に手藝は一般志望者に賣却せしが黃州公立普通學校の杞柳製作品の如きは殆んど全部賣約濟となり沙里院並に瑞興兩普通學校の硯も亦た出品數の過半は賣れ行きたり觀覽者は開會以來內地人九百鮮人九千五百餘にして非常の盛況を呈せり

仁川

▲熊谷校長上京期　仁川商業學校長熊谷敏夫氏は二十日東京に於て開催さるゝ可き實業學校長會議に出席の爲め向ふ二週間の餘程にて來る十七八日頃上京すべし▲支那領事招待會　久永仁川府尹は新任仁川支那領事張國威氏及び書記生四名を正賓とし松元警察署長を陪賓として十三日正午自邸に於て招待會を催したり▲武道小會延期　十三日開催さるゝ筈なりし仁川商業學校武道小會は十六日に延期し十八日の擊劍會は熊谷校長出張に就き來る學校始めに催す由因に同校武道擔任吉田敎師は一年志願として來る二十日仁川發十二月一日入營の筈▲修學旅行寄附　仁川學校組合議員大石季吉氏は高等女學校修學旅行費中へ金五圓寄附す▲秋季種痘日割　仁川警察署にては十五日より二十日迄八日間秋季種痘を施行す日割左の如し

▲十五日 檢事務所に於て萬石町松阪町花房町港町支那町▲十六日 仲町海岸町宮町山手町新町花町敷島町桃山町柳町▲十七日 元保祿組合事務所に於て內里外里西里▲十九日 公立普通學校に於て花平里新花里▲二十日 公立商業學校に於て同校及び永代女學校生徒牛角里金谷里松北水里松峴里▲二十一日 天道敎會に於て花平里新花平里▲二十二日 高等女學校に於て同校及び幼稚園生徒山根町

尚檢診日割は旅行より五日後前記種痘場に於て逐日之れを爲す可し

烏致院

▲燕岐郡地主會發會式　十一日午前十一時より烏致院公立普通學校に於て開會郡內の大地主百餘名出席高郡守地主會の發會を宣し道廳よりは長官代理として小松事務官臨席し規則の制定役員の選擧等を終へ午後二時一先づ式を閉ぢ其より畜牛品評會褒賞授與式を擧行せり

群山

▲米穀組合落成式　既報群山米穀商組合新築事務所落成式は十一日午後五時より新築事務所樓上に於て開催せられたり全羅北道廳よりは道長官代理大久保第一部長來臨し群山官民重なる者八千餘名を招待し米穀當業者全部出席し定刻に至るや米穀組合代表者森菊五郎氏の挨拶に次で大久保第一部長の祝辭あり更つて大橋判事來賓を代表して謝辭を述べ天野府尹阪上鮮南社長山本米檢所長交々立て祝辭を述べ大澤商議會頭の祝辭朗讀米穀仲立業代表者の祝辭朗讀ありて大平書記長各地より來著せる祝電を朗讀して式を終り直ちに祝宴に移り花月、新月の紅裙總出にて酒間を斡旋し一方會場の一隅に特設せる舞臺上に於て花月、新月、若葉會合同の手踊、喜劇演ぜられ主客十二分の歡を盡し散會したるは午後十時なりし

木浦

▲客月當驛狀況　十月中木浦驛營業狀況を聞くに乘車人員四千二百四十二人下車四千百十六人入揚者一千七百十三人にて貨物は發送一千百二十五噸到著八八〇噸にて客車收入四千七百六十六圓七十二錢貨車收入八千百十一圓七十四錢なりと▲出入船舶隻數　十月中に於ける當港出入船舶は入港外國貿易汽船四隻二千七百五十噸內國貿易汽船二十九隻一萬五千二百七十一噸帆船九隻二百九十一噸合計四十二隻一萬七千六百三十七噸出港外國貿易汽船四隻二千七百五十噸內國貿易汽船二十九隻一萬五千二百七十一噸帆船十隻二百九十九噸合計四十三隻一萬七千六百十三噸なりと▲電報取扱狀況　十月中木浦郵便局に於て取扱ひたる電報發著狀況は發信四千三百八十八通著信四千三百六十七通にて前月に比すれば發信は七百四十五通著信は五百十八通の增加なりと▲壯丁豫習敎育　在鄉軍人分會にて十一月一日より壯丁豫習敎育を開始せしが當地壯丁合格者は二十六人にして各壯丁熱心に授業を受けつゝあり

大邱

▲安康地方近況　慶北慶州安康地方に於ける米産地たる安康は一兩年來長足の進歩をなし團體及び東拓移民の移住するあり學校組合區域戶數五十二人口百九十の內九分は農家にして著實に生活の基礎を固めつゝあり地價水田一反五十圓前後にして反當り玄米二石以上の收穫ありと▲道長官出張　鈴木慶北道長官は地方重要物産品評會褒賞授與式臨場の爲め十一日尙州に向け出張せり▲慶北道秋繭産額　本年度內慶北秋繭販賣總高は二萬八千五十二圓數量六百八十石にして安東郡六十四石、奉化郡三十一石等は其主なるものなり▲安東品評會　安東に於ける六郡聯合物産品評會出品總數は一千九百八十六點にして內授賞數は七百十九點にして繭三百四十八點出品中授賞數百三十三點が最高なり▲星州街道改修工事　星州間道路中西門市場の西方約四百間延長は來る十五日より改修工事に著手し本年內に竣成せしむべしと▲尙州品評會閉會　尙州外三郡聯合品評會は十日閉會式を擧行し道廳より申參與官古藤道書記臨場せり▲大邱神社祭　大邱神社祭は十一、十二日非常なる盛儀にて執行されたるが神輿渡御は今回初めてなりしかば是を拜觀なさんとて府民街路に堵をなし十一日には孔子廟にて御駐輿十二日午後三時頃大邱神社に還幸されたり▲慶州普通校展覽會　慶北慶州普通學校にては十一日より三日間學藝品敎育展覽會を開催す

釜山

▲海上禁止解放　慶尙南道廳にては曩に虎疫防遏の爲め沿海漁撈の禁止令を發布し居たるが漸次虎疫の終熄を告げたるを以て十二日より一般漁撈區域を解放したると共に海水の使用も差支なきことゝなりたるが久しく禁止の爲め打擊を受け居たる釜山其他の漁業者は初めて愁眉を開けり▲西本願寺建築　釜山富平町二丁目に新築の西本願寺の建築材料の一部たる欅材到著したる爲め信徒有志數百名は十二日午前十時稅關濱に勢揃を爲し木遣音頭勇しく富平町の寺院に運び込みたり▲小學校同窓會　釜山小學校同窓會は來る二十日西町妙覺寺に於て幹事會を開き每月十二日を例會當日と定め各寺院教會等の講堂を借受け各宗敎家の修養談及び有志の講話を請ふことに協議する筈なるが缺員たる副會長には竹下隆平氏を推すことゝなりたり

人事消息

▲宮野宣氏　故宮野舘氏の遺骨受領の爲め十二日午後南大門通過福岡へ
▲白川友一氏　十二日午後入京吉野町事務所へ
▲安藤靜氏（朝鮮電氣通信社長）　十二日午後歸京
▲小龍元司氏（鎭南浦久原製錬所長）　十二日入京山本旅館へ
▲北條久治氏（鐵原支廳判事）　十二日入京不知火へ
▲伊藤孫太郎氏（開城支廳判事）　同上
▲淺見竹太郎氏（春川支廳判事）　同上
▲萩原重氏（大朝記者）　十三日午前入京
▲臼井水城氏（辯護士）　十三日入京
▲深澤新一郎氏（監獄課長）　十四日東京へ出張
▲野田忠藏氏（商工課技師）　此の程慶尙北道へ出張
▲野口新一氏（元山土木局技師）　此の程出府
▲佐々木濟綱氏（釜山辯護士）　十三日入京不知火へ
▲阪上貞信氏（勸業株式會社々長）　同上鷲尾へ
▲野口多內氏（滿洲大興會社理事）　同上
▲山田宗太郎氏（貿易商）　同上朝鮮ホテルへ
▲メリスキー氏（露國人）▲スタツトベア氏（米人）　同上
▲牧野虎次氏（組合敎會幹事）　南米倉町森匡作氏方投宿十五日朝出發歸東

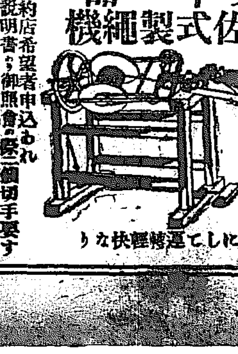
◇送安河內芳諸兄　烏兒
冬の山についと立ち去る雲白し　烏兒
紅葉映ゆ郷に入る日を諾ふべし　靜軒

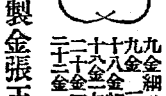
□太田三孝君を送る　黃丘
君漢城に駐留に親まるゝ三星霜。今や鵬志を抱いて臥遊せられんとするに際し。惜別の情禁ずる能はず、駄吟を呈して以て君の行を送る。
山橘すつくりと旭に立つ
送りし後の冬紅葉さもし

敬告
今般一任地へ發向致候に付ては一々拜趨御暇乞可仕筈の處取込中缺禮仕候段不惡御海容被成下度出發の際は御多用中態々御見送を辱うし奉拜謝候乍略儀以紙上御挨拶申上候
十一月十三日
上林敬次郎
欣子

廢業廣告
小生儀從來當地に於て土木請負業營み居り候處感ずる處あり今般廢業致候間御禮旁々謹告候也
京城府榮町五番地
龜割安藏

移轉御披露
今般業務擴張の爲左記の處へ移轉仕候間倍舊の御引立奉願上候
京城本町二丁目
懷中電燈 眼鏡御時計 及附屬品一式
川合時計店
電話二九一八番

荒佐式 天下一品 製縄機

堅牢にして運轉輕快なり
特約店希望者申込あれ
詳細説明書ハ御照會次第直ちに送呈す
發賣元 大阪市北區下福島三丁目 縄莚商 荒佐本店
電話土佐堀一八五九番 振替大阪二〇七五四番
日向宮崎中村町 荒佐支店

▲眼鏡▼

九金細ツル 六圓五十錢
九金一匁三分 八圓
十八金細ツル 八圓七十錢
十八金一匁七分 十一圓六十錢
二十金一匁八分 十三圓
二十二金二匁 十五圓
米國製金張玉付 甲三圓五十錢 乙三 丙二圓五十錢
銀縁 一圓三十錢以上二圓五十錢迄
赤銅無地 八十錢以上二圓五十錢迄
赤銅金次 二圓五十錢以上五圓迄
鐵、本ニツケル
凹凸平 各種 米國特製玉 一圓
獨逸 上玉 六十錢
メニスカス玉 三圓
クリ山玉 一圓五十錢
サツク類十錢以上一圓迄
各眼科病院指定眼鏡製作
各地方より御注文の節は代金引替にて直ちに送附申上候但送料實費
京城本町一丁目郵便局前
中村眼鏡店
電話一千百十七番 振替京城三壹六番

鹽
各種食鹽販賣 穀物委託販賣
龍山製鹽所
龍山元町四丁目 電話龍山四〇七番

五十羽の靈鶏艦上に舞ふ
盛大なりし巨艦伊勢の進水式

神戸川崎造船所に於て建造せし三萬千二百噸の巨艦伊勢の進水式は豫定の如く十二日午前九時御名代東伏見宮殿下御台臨の下に未曾有の盛儀を以て舉行せられたり

晩秋の空清く風穏かに茅渟の海波靜かなる空に是れ絶好の進水日和、海上には鹿島、香取、富士の各艦及び驅逐艦隊の艦艇碇泊し、港内の大小船舶何れも満艦飾を施したれば

◇神戸港稀有の盛觀 を呈せり午前八時三十分頃より參列員式場に參集するや間もなく御名代東伏見宮殿下には造船所に着せらる、是より先碇泊中の鹿島、香取、富士の各艦は二十一發の皇禮砲を發射し川崎副社長以下重役に迎へられ海軍々樂隊の奏樂の裡に御休憩所に入らせられ右參列員一同に謁を賜り同五十五分川崎副社長の先導にて殿下は式場に臨ませられたり、九時川崎副社長は進水準備終了の旨を海相代理に申告すれば伊地知海相代理は恭しく式壇に進み命名書を朗讀し副社長に授く副社長は進水主任たる造船工作部長山本盛正氏に向て進水を命ずるや進水主任は信號旗に依りて合圖せられ吹て進水を指揮し紅白の旗は取外し次で中火の辨木は取外され、斯くて

◇進水の準備は成り

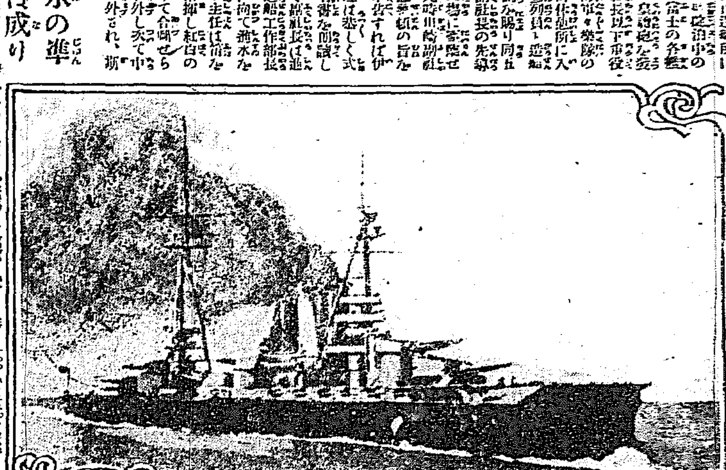
其の刹那よ金剛不動の如き川崎副社長の右手突と上るよと見れば銀の斧は丁と下りて閃き艦首に懸れる索綱は物の美事にハタリと切れて三鞭酒を盛れる瓶は釣瓶落しに落ちつゝ清漿を艦首に注ぎかくると共に薬玉はパッと碎けて繽紛たる五彩の花片を降らし萬衆恍惚の裡に五十羽の靈鳩は艦上高く舞へり、只見れば六百八十三呎の巨艦は早くも母胎たる造船臺上を放れんとして靜かに滑り初めたるなりき、嗚呼光景の雄大何物か之に若かん

◇果然沈默は破れて

拍手と喝采と在港各艦船の一齊に吹鳴する汽笛は天地を撼かしてひとき幸ある彼女の運命を祝する奏樂の音は快く流れ出づる間を巨艦伊勢の雄々しき姿は悠然として海に浮び斯くて芽出度き進水式は些の滯りなく終りを告げ殿下は奏樂裡に御退場御出門御歸館せられたり此時各艦再び二十一發の皇禮砲を放ちたり、進水式終ると共に來賓中の千餘名は大食堂に案内せられ伊地知海相代理の發聲にて天皇陛下の萬歳を三唱し川崎副社長の挨拶に次で帝國海軍の萬歳を唱へ立食の饗應あり盛會の裡に散會後に入り重なる來賓の招待宴を開き是亦盛會を極めたり同艦は現在

◇列國海軍に於ける

最大威力にして曩に呉海軍工廠にて竣工せし扶桑及び横須賀工廠並に長崎三菱造船所にて建造中の山城、日向と共に所謂八四艦隊の主戰艦たるべき帝國海軍の最大巨艦なり、排水量三萬千二百六十噸にして諸外國の巡洋戰艦に比し三千七百六十噸多く武裝は十四吋主砲十二門、副砲其他小口徑砲三十九門(内最大仰角度の航空機[illegible])艦の一大特色は斯の如き强大なる攻撃力と防禦力を有せるに拘らず最高二十三節の速力を出し得る點にあり(十一月十二日川崎造船所進水式場にて有竹生)


軍艦伊勢

◉知らぬ間に妻
安泰寺の住持を訴ふ

江原道鐵原郡西邊面生齊洞李容俊方同居林淑郷といふ寡婦は同面安泰寺住持李法允を相手取り民籍抹消の請求訴訟を京城地方法院に提起せり請求要旨に依れば林淑郷は大正四年一月中夫に死別れ徐吉童といふ一子ありて生活に困り居れる内亡夫の甥なる林新五なる者來り吉童を安泰寺の弟子として入庭さすれば勉強も出來淑郷は寺の附近に借宅して各僧侶の衣類洗濯でもなせば別に生活に差支無しと言葉巧みに說きたるより吉童の愛に引かされ同寺に赴きたるに其當日より意外にも法允より結婚を申込まれ事が面倒となりたる爲め之れを拒絶したるも吉童の虐待せられんことを虞れ其儘打過ぎ居たるに計らずも近日に至り自身は本年七月二十九日附を以て李法允の妻として民籍に登錄され居るを發見し全く自分に其の眞意なきにも拘らず法允が勝手に取計ひたるものと判明し前記の訴訟に及びたるものなりと

◉千八百圓事件
犯人就縛

既報の如く大邱朝鮮銀行支店より小切手を以て金一千八百圓を詐取せんとせし犯人は濟州島生れ金公度(三四)の弟金入源(二六)と判明し十三日捕縛されたるが目下の處他に共犯者なきもの丶如し(釜山特電)

陸軍特別大演習
▽兩將、御前に伺候す
具さに戰況を聞召し給ふ
第二日―北軍不利―十三日戰豫測

大演習第二日(十一日)久留米平野に輸贏を爭ひたる兩軍司令官は大元帥陛下の御召に依り大迫、井口兩將共互に軍司令部を發し軍用大自動車にて曾根崎御野立所に伺候し直立不動の姿勢を以て具に戰況を奏上したるに陛下には聞し召されたる上北軍は戰況不利木山口花立山の線に退却の已むなきに至る

との新情況を下し給ふ茲に於て井口北軍司令官は御前を退き幕僚會議を開きたる後退却の決心を奏上したれば南軍は直ちに田代、松崎に亙る線に進出し敵を東北方に壓迫したり又南軍飛行機は敵の後方小倉附近を偵察し且敵の退却狀態軍の收容陣地後衛陣地の搜索に努たるに北軍は後衛は寶滿川左岸の地區を守備し其の他は更に退却の企圖あるを判斷せしが夜に入りしを以て偵察の目的を達せず然るに井口北軍司令官は統監部より左の軍令に接す

長崎熊本より前進せし敵は二箇師團を下らず又別に大分方面より前進中の一箇師團の敵は十二日豆田に達するの距離に在り

と茲に於て井口北軍司令官は意を決し夜に入りて二日市隘路を過ぎ逐次後方に退却せんとす後衛は特に十三日右翼枝隊の七曲峠方面を警戒す余(特派員)の推定によれば北軍の後衛は久留米平野と福岡平野との相接せる瓢箪の括りの如き二日市南方の天險に據りて南軍の進出を拒止す可く十三日の戰は福岡平野に於てせらるゝならん(十三日午前十一時四十五分福岡にて金谷特派員發)

◉合併相撲
總勘定
何と言ても爭はれぬ實力の相違

年に二回の抜け打ちは何うかと危ぶまれた東西合併相撲も幸に雨天休場もしたばかり晴天續きに十二日で大入叶の千秋樂で殊にその日は朝日山の迫眞佳績を看る氣は凄まじい程で三十一日に始めて三日間雨天が浮いてる大阪方に初日前からの勢ひ遂へる處だなどは大に今度の合併の成功を語るものだがその割合に振はざる事の夥だしいのは春の時と些しも變らぬ大阪力士の不成績である

▽土地の好角家 をして「怎んなもんぢやい」と例の腮を剔らせるに到らなかつたのも怒じ好い氣だつた丈に面目あるまい。と言て今度遊り隨分稽古もし奮勵もしたのだが平素の稽古不足から來る實力の相違はイザ接戰となつてイクラ火の出る様な稽古をしたつて駄目だ、しかしまた〳〵前途はある、春からかけての再度の失敗に鑑み鴉片飲みに注射をしたやうな發奮でなく、此次からは本當の發奮猛省が望ましいものであるそこで

▽星勘定に現れ た成績は東京方幕内勝百三十、負六十五、分八、預五、大阪方幕内勝七十九、負百七十三、分八、預六である、先づ東京方から言ふと總帥太刀山將軍が休んだが副將西の海全軍を醫めて克く奮戰し春の時と全く劣らぬ成績を示した力士各箇を通じては十日間全勝が栃木山、幕下で常の花、勝星九ッを得た者が西の海、大錦、幕下で大門岩[illegible]二日目誠將黒瀬川と引組んで土俵揃りとなつたが遂に星を奪はる

これに亞いでの好成績者は源氏山、逆鉾、寒玉子、幕下で一湊、駒泉、國見崎、荒玉、太刀嵐など此の外州山、飯島、幕下で成瀬山、四國洋が負越した外は悉く勝越してゐるのに反して大阪方は[illegible]はいゝとして三役は殆んど見苦しい負越しばかり、僅かに中堅の日出山と新進の宮木山の二名が四勝四負分二の五分の成績であつたのは朝日山が[illegible]星を殘した外は全部負越し稱ひとは情けない成績である、唯幕下で梅若が勝七個を得た外四ヵ名勝越又は五分の成績を現はした者があつたのが目立つてゐたばかりで之れも取り立てゝ言ふべき程の事は無い大阪方の振はない原因は實力の相異は勿論であるけれども味方有數の闘士である小染川の休場が全軍の士氣を一人で背負つて立つ概があつた初日松が初日東軍の[illegible]宇都宮に引き落され

▽東京方は幕內 で朝網、[illegible]

▽醜態を殘した き休場した事などが主なる理由で、此の春の時の如く時の矢が西の海を叩きつけたやうな大番狂はせの無かつたなども味方の士氣を振作し得なかつた一つの原因とも見られる、今度の合併では東京方に出羽の海一門の後鋭が杉を揃むで殺倒し來つたとは言へ今春の如く幕內ゝ全部を網羅したといふのでは無く、東京方の力士の不足は勢ひ幕下力士をして大阪方の幕内に馳向はする事となり其處に

▽面白い結果が 見られると豫想し恐らく此の想像は外れまいと思つたのだがそれが悉く豫期に反いたのは大阪方のために殘念であると同時に東京方の元氣の好い事を特筆して置きたい、殊に東京方の全勝力士栃木山の如きは此の前にも十[illegible]

▽相撲に馴れて ゐる醍醐附かずの好成績であつたが今回の此の成績も決して偶然では無く全く勉强の賜であると言はねばならぬ、それから本場所では近頃餘り働けない大の川、小常陸等が相當の星を殘したのは合併[illegible]試むるに忍びないが松の音改め不知火、加古川光岩、西の森の如きは最少し働けさうなものであつたと思ふ、亦今度の合併で特に良いと思つた事は合併に有勝の判り切つた勝負に翻する物言ひが少なく分が無く、そして自暴自棄を起して中日過ぎに休場を申出る者が無かつた事である、假令敗れたりと雖も正々堂々善戰併翻矢頭き刀折れて敗軸したので決して恥づべきでない否寧ろ再度の合併によつてその相撲振り品格等の向上して來たらしいのは大阪方のために慶賀に堪へぬ所で唯此の上の希望は益々切磋琢磨東京方の堅壘に向つて肉迫せん日の近からかんである

◉十七歳の活動寫眞女辯士の罪
脅迫されて操を破り、竊盜、萬引

京城櫻井町一丁目居住大分縣北海部郡佐賀市村生れせつ子事阿部萬年(一七)は市内活動寫眞館有樂館の女活辯にて月給五圓を受ゐたるが身分不相應なる身裝をなし居るより本町警察署の佐々村刑事に怪まれ擧動內偵中同人は此程萬引をなせる形跡判明し遂に本町署に留置されたりせつ子は尋常六學年を終へて間もなく女活辯の見習となり本年四月頃しばらく大正館に勤めしも手癖のよからぬため解雇され此頃有樂館に居りしが同女は舞臺の幕間にての辯舌は頗る巧みにて觀客の喝采をうけ居れり然るに本年四月二日夜大正館の道具方をして當時同館の夜番を勤め居たる七十七歳の老爺に口說れ節操を破られ其現場を見付けたる同館廣告隊の旗持ちなる朝鮮人通稱三郎(二〇)に脅迫されて以來同人と懇意を通じその歡心を求むるため贅澤なる日用化粧品を買ふ可く遂に竊盜を働くに至り有樂館備附の電球上草履等を手當り次第に竊みたるを手初に活辯の所持品にも手を付け白粉、櫛、リボン、手拭、簪、襟留、足袋、風呂敷、帶締め、小鏡、石鹸、帶、ハンカチ、金口捲煙草、襦袢、湯具等百數十點を竊取し女用の物は自身に着用し男用の物は三郎に與へ現金をも一回十圓を最大として約十回計り竊取し贓品全部二百餘點價格約三四十圓に達する由なるが此他市中の小間物雜貨店よりも多少萬引をなせる形跡ありと

◉鑛山師の化の皮

京城光化門通居住忠南瑞山郡赤安面生れの李鍾洙(三七)忠北禮山郡任城面生れの李鍾祥(三二)江原道淮陽郡長陽面溫井里生れ黄金町一丁目居住辛學默(四五)の三名は鑛山師なりと自稱し全南和順郡松石面生れの尹鳳赫(三四)といふが數百圓を携帶して京城見物に來り居るを探知し重石鑛買入をなせば甚だ有利なりと欺き其の買入資金といふ名義にて二百圓を出金せしめ之を以て賃鑛契約をなして手附金として消費したる如く裝ひ間も無く鳳赫の實父某は六百圓の金策をなして入京したるを以て更に同人を欺き百餘圓捲上げたること發覺し三名は兩三日前本町署に引致

◉蔡督軍の寵姬筱鳳仙

支那第三革命雲南の舉兵と共に蔡鍔の倖名は天下に轟きわたりしが彼が第三革命後袁政府の下に參政として跡を晦まし居りし頃のことなり彼は北京前門外韓家潭武陞班の美人鳳仙を寵し遂に落籍して之を金屋に蓄へ愛亦籠別の手切金と稱して衷より萬金を贈し得て妻を上海に遁り自らは屢々鳳仙と手を携へて天津に往來せしが、これぞ彼が梁啓超と會見して他日の旗擧げを企てつゝありける際なりし、彼の將に日本に走らんとする前夜鳳天津某處にて鳳仙と會し熱淚の下泣々として別るゝに忍びざるものありしと云ふ

◉六名に斬付く
二名即死他は重傷

江原道春川邑を約四里距れる春川郡北山外面內坪里憲兵分遣所管內清平里居住鄭聖心(三九)は九日朝乾川里の農民なる吳姓女(四五)金龍萬(三六)鄭毀永(三四)同人妻朴氏(四八)朴氏(六七)同人孫金在成(一二)の六名を斬り內二名は死亡他は重傷を負ひ生命危篤なり犯人は一時所在を晦ましたるが官憲の嚴重なる手配により遂に同日午後十時三十分內坪里分遣所へ自首したり原因其他は目下取調中なり(春川)

◉斷崖より墜つ

平安南道德川郡大極內面和順里元利五(五四)は十月二十九日同郡和順面馬谷洞より梨峰洞に通ずる道路を通路中高さ四十間餘の斷崖を過つて墜落即死せり

◉地中から銅線を盜む

京城昌信洞鄭壽福(三四)高陽郡崇仁面餅店里金興雲(三二)兩名は共謀し十月廿八日夜崇仁面安甘川附近にて京城電氣會社布設の地中銅線二十六間餘を掘取り鍾路署の手に檢擧されたり

◉養生所生徒修學旅行

京城中學校附屬小學校教員養成所職員生徒一行廿六名は十一月十六日出發內地へ修學旅行をなし十二月二日歸校すべし

讀者文藝
(一等には五十錢の書籍券を呈す)

△物はつけ題「堅そうで柔いものは」

○芝居の石(一等) 義州 久住春太郎
▲雪だるま 新安州 エフ生
▲浮世の義理 元山 内山 湊恩
▲きんつば 京城 恩 外
▲一たび打つ親の手 龍山 岡本小草序
▲若い時の決心 龍山 山家 春公
▲[illegible]い女 木浦 菊 次郎

◉又も太郎に犠牲疫

去る十一日太郎上町十六番地追口月ゑ長女かね(六)が突然劇しき吐瀉をなし遂に同夜死亡せしが十二日檢鏡の結果愈々眞正と決定せり上町は道廳、新築郵便局、警察署、農銀等通行の要路に當る地點とて府民大警戒をなしつゝあり(大邱)

◉婦々女の處刑

京城永樂町一丁目居住東京本所區横網町[illegible]一丁目下宿屋志田方に宿泊し五圓餘の宿料を踏み倒し同月八日本町二丁目の飲食店末廣に[illegible]

◉連絡船上陸客

十二日午前[illegible]十二日午後釜山入港壹岐丸二二等客一等(一人)村田湘仙[illegible]二等九名[illegible]釜山入港さくら丸二二等客[illegible]

解警戒
(十一月十三日午前九時發)

平安南北道、黄海道、京畿道の沿岸の警戒を解く

讀者文藝 課題募集規程

[illegible]

▲國募集規程 ▲用紙は端書又は同一手紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名を[illegible]住所氏名明記の事▲題一種類の異る[illegible]用紙を[illegible]

天氣

▲十一月十四日 晴れ時々曇り
(十三日午後[illegible])

十四日 日出 午前七時 二十一分
日沒 午後五時 二十四分
[illegible]

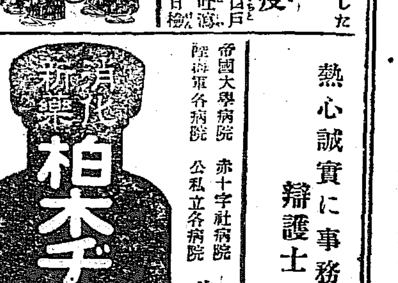
十一月十三日より廿日迄
閉店大賣出

各品共大見切にて從來の直段の三分の一乃至半額位の大放賣

弊店儀 永年多大なる 御同情の下に格別の御引立に預居候處今般一時閉店整理する 事と相成候 就ては平素御愛顧を蒙り其御禮として破天荒の 大廉價 を以て 大賣出し仕候間是非共 御來店の上 多少に不拘御買上の榮を賜り度希上候

京城本町 辻屋

日本一の栗羊羹 京城本町二丁目 龜屋



糖化力最强にして效力常に一定す

帝國大學病院 赤十字社病院 陸海軍各病院 公私立各病院 御採用品

發賣元 大阪道修町三 田邊五兵衞 大阪平野町二 岸田市兵衞 東京本町四 田邊元三郎

熱心誠實に事務を取扱ふ
辯護士 從五位 堀池常作
事務所 大邱府南龍岡町

髪を黒く長くつやをだし さらさら として髪のぬけを防ぐ事

◉質屋開店御披露

謹啓各位益々御清榮の段奉賀候扨て弊店儀今般京城明治町二丁目(舊曙町)へ新築中の營業場所今般全部落成仕本月二日より開店致候に付ては尚今後共一層御客樣本意にて親切確實に營業可仕此段御披露申上候 敬白

尚完全なる倉庫の設備致候に就ては諸物品の保存は勿論火防盜難豫防上至極御安全に候

京城明治町二丁目廿二番(舊曙町) 大塚質店 電話一八四九番
舊龍山元町二丁目(舊老松町) 大塚質店 電話五六五番

特約店 平壤 桑田支店

菊地氏三度此地に

筑後川畔の懐古＝竹内歩兵中佐の談

『元寇史蹟新研究』の著者として有名なる朝鮮駐箚軍高級副官竹内歩兵中佐は秋山將軍の宿なる福岡濱町其野龍吉氏邸にて語つて曰く『十五日大元帥陛下の親しく御閲兵遊ばさるべき大觀兵式場は福岡の鰹鵜坂の西方大堀に接せる一帶の平地なるが此の地は文永役の元寇來襲及び

南北朝時代の古戰場

として洵に記念すべき土地といふべし、殊に南朝の忠臣菊池武時の墓は寧の東北端六本松にあり、道路に臨むくも千載の忠臣を葬れる地に陛下親く兵を閲させ給ふ事は洵に意義深きことゝ拜察し奉る次第なり、而して今上陛下御大典の砌特に從三位を贈位遊ばされたる菊池武房は彼の文永の役に蒙古の來襲を防ぎ闘ひたる勇士にして當時蒙古軍は觀兵式場附近なる今津灣に上陸し日本軍は博多箱崎方面に陣したるが其の先頭第一に立ちて蒙古の精鋭に當りたるは實に此の武房にて後ち

日本軍退却の後衛と

なりたるも亦武房なり云ふまでもなく當時の蒙古精兵は現今露軍の進撃しつゝあるガリシャ及びカルパシャン山脈を超ねて遠く匈牙利に侵入したる常勝軍にして其の兵器戰術の進歩遠く日本軍の及ぶ所に非ざりしにも拘らず遂に其の鋭鋒を挫きたるは痛快の至りなり、而してまた北條氏の博多探題を襲撃して戰ひ敗れ一門悲惨なる最後を遂げし菊池武時はこれも亦同一の地に於て當時一子武重を歸したるものにて逆賊と戰ひた物語は大楠公の櫻井役にも比すべし然るにまた菊池氏の祖先は

曾て刀伊の賊を撃破

せし藤原氏にして刀伊は朝鮮咸鏡道より潮流に乘つて來れる今のツングース族なるべく當時の鋭鋒當るべからざるものありしにも拘らず菊地の祖先これに勝ちたるは面白しといふべく斯く年代を距てながらも前後三回に亘りて菊池氏の如く同一の地に勇戰せるは稀れなるべし、這回菊池氏の後裔たる陸軍中佐菊池武夫氏は大演習陪觀中なるが當年菊池氏勇戰せる古戰場に天皇旗燦たる光景は轉た感慨に堪へざるものなり』と談話せり

放膽な菊の作り方

岩本法院長の邸の逸品

岩本法院長の官邸に素晴らしい立派な菊が咲き揃つたと云ふ事を聞いて早速拜見に出掛ける應接室に通されると此の室にも大輪の菊が大きな花瓶の二つに盛られて室内を飾つて居る、法院長は例の通りの穏やかな謙遜した口調で「イヤ夫れほど大いした菊では無いのです私は東京に居つた頃は殆ど菊は作りませんでしたが朝鮮に來てから別に娯樂が無いのと運動の爲めに菊作りを始めたのです運動として菊作りの都合の好いのは土を踏んだり土を觸持つたりする事と急用が出來しても居場所が極まつて居る故に職務を持つて居る者の運動に適して居る事又自分の邸には老人も參つて居られるから花を見て悦んで居られます實は父が菊作には凝つて居られて細かな手入は皆父が爲て下されます朝鮮も慶尚南道あたりならば花壇に作れるが京城あたりでは急激に寒氣が襲來する爲に花壇作を爲る事が能きません」と語りながら二階の一室へ案内された其處は十疊ばかりの室で室の半分は三十餘鉢の菊花に領せられて恰度花壇を築いて在る如うだ、奥から順次大の順に幾列にも並べて何れも大輪で白、黄、紅、褐、紫其他取々の花或は抱擁正しく咲き或は雲の如く獅子の如く狂ひ其の輪の大なる物は一尺四五寸に及び小なるものも一尺に充たざるはない京城には隨分澤山の菊自慢の方も居られるが恐らく之れ以上の菊は何處にも有まいと思はれる大變に見事な出來栄を賞讃すると院長は「自分の菊作りは隨分放膽のやり方で運動を主眼として居る位だから此れはほんのまぐれ當りです」と何處まで行つても謙遜なお話しぶり法院長は寫眞にかけても却々玄人負かしの技倆を持つて居ながら何時も斯んな調子で一向に御自慢をされぬがあれで菊と同じやうに却々の傑作を持つて居らるゝさうだ

晝夜の賑ひ

龍山鐵道俱樂部總會

龍山鐵道俱樂部にては十二日午後一時より俱樂部の總會を開催したるが開會劈頭横井副會長代理の開會の辭に次いで伊藤庶務會計幹事の報告あり右終つて副會長代理の挨拶ありて餘興に移り落語、手踊り、浪花節、夜に入りては活動寫眞等あり亦總會と相俟つて同日午後一時より俱樂部に於いて劍道、柔道部聯合の武術大會ありたるが來會者は俱樂部及び家族千餘名にて盛會なりし

門松の取締

毎年新年用の松飾りに根付松稚樹を伐採し使用するものあり昨年も門松飾付け後根を切り取らざる樣其筋より注意を受けたるもの多數ありたり元來根付の松を軒先に晒らし物にするが如きは森林の愛護上甚だ不締なる現象なれば當局にては京城に於て從來毎年使用せる飾松の產地に就き調査したるに内地より輸入するもの僅少にして朝鮮人の多數が京城附近の禿山より盜伐し來るもの判明し之等鮮人の取締を一層嚴重に勵行する由

新聞經營者大會

全鮮新聞經營者の意見を交換し兼ねて懇親を圖る爲め今回朝鮮新聞、釜山日報、本社の三社發起と爲り來る二十四、廿五の兩日本社内に於て全鮮新聞經營者大會を開催することに決したるが出席者は來る十五日迄に本社營業局内新聞經營者大會假事務所幹事上田元三宛通知されたし

神社とお寺と教會

○西本願寺（若草町）十四日午前八時午後一時同七時半より報恩講あり講師は午前山内開敎使午後松原總長前寺布教員同七時半よりは松原總長及び岩尾教師の說教及び講話あり

○本願寺（南山町）十四日午後一時より婦人例會あり

○基督教講演會 南米倉町京城基督教會にては十四日午後七時より講演會を開き同教會牧師大野次氏の講演あるべしと

商況

東京債券現物特電

十一日の値段（前日との比較）

東京公債直取引

深川在米特電

東京期米特電

大阪株式特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

金市類混沌

錢先物三十五錢迄現物六圓二十五

一時的の人氣作用

一段の下落待て買乘

百七十四五圓處買躊躇

麥粉更に高し外三圓十錢處

二圓八十錢内

鐵材類軟弱

洋釘類三圓方下落 五十錢方を引弛

油蠟類強硬

最近市況は輸出向の買沒り的買進みより現物の拂底とて連日商勝歩調を辿り居たる種油は又々伊勢品油に依りて三十錢方胡麻油は品に依り七十錢乃至一圓五十錢方花油は各品を通じて一圓六十錢方昂進し目先尚ほ一段の上進を爲すべき商情なり蠟燭は各品とも需要期なるより各地とも先高は豫め見越されたる所となし買氣が上にも強調し來りしため市況強し

木炭は強硬 一二三錢方を

籾買入 京城南米倉町 龍山精米所 電話二三四番

下關相場

追々出廻り增加

京城正米

△朝鮮一等白米（常用） 十六圓
△小豆 日手合のみ
△太田大豆 十一圓七十錢
△倭館大豆 十一圓二十錢
△宣川大豆 十一圓八十錢

南大門の廻穀

大五仲買店 仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 電話三〇九番長九二一番

仁川現物市場

釜山市場（十二日）

生魚市場

仁川期米

十三日前場 大阪天候晴天 前寄十六圓五十六錢と一昨止より二十錢大下放れの入電一節四十九錢と尙安移り大阪五節五十六錢と引返し

(利) 仲買店 仁川米豆取引所仲買人

市場零聞

前場下げ遊ぶ

安附口なる大津多事と安値は荷主の應にせざりし

前場の手振

今優勢に賣る

(イ)能く買ふ

全能く買ふ

(リ)能く買ふ

三能く買ふ

十三日の一月限

仁川米豆取引所

賣買取組高

北濱だより

株は底意は氣丈

的賣繋全然軟化將た又素強氣とし先限を買退

依然底強し

連節に亘つて賣捲形勢一變

(日) 仲買店 仁川米豆取引所仲買人

小賣白米

演藝案内

稻荷座 京城本町五丁目

大正館

黄金館

壽館

有樂館

御成座

浪花館

子宮病血の道とリウマチスに惱む人は

彼れ是と迷ふ無く 眞に能く効く 神疝湯を

即刻試みよ現に……

◎烈しき神經痛で惱みし人
◎頗る難治のリウマチスの人
◎數年固疾の疝氣で苦しみし人
◎百法効なき子宮病の婦人
◎常に悲しむ血の道の婦人
◎多年惱めるヒステリーの人
◎不治の慢性胃腸らめしき人

などか此良藥神疝湯の連服で漸次快方に赴き遂にはスッカリ快癒し嬉さの餘り懇篤な禮狀（一般の閲覽に供す）を寄らるゝ實例も尠からず若不幸にも是等の病に惱む人あらば輕症と難症の論なく即刻試よ神疝湯は家方の良藥にして今や全國各藥店に有り

缽質改良劑

商標 神疝湯 荒川長太郎

◎こんな徴候の人

胸、腹、手、足、肩、脊、腰、膝、睾丸等つり、腫、しびれ又は筋張痛◎彼處此處と移動し◎何となく息く◎腹張差込◎腹なり胸つかゆる◎溜飮◎食進まず又は進過ぎ◎便秘又は下痢◎寒氣◎逆上◎血眼◎目暈◎耳鳴◎頭痛◎齒痛◎頭重く肩凝◎腹に力なく◎腰足冷へ◎夜眠られず◎根氣薄らぎ記憶あしく◎氣鬱◎癇高ぶり◎物事に感じ易く◎顏手足の浮腫等や疝氣、リウマチス、神經痛、胃腸及子宮病、血の道より起る諸患に惱む人は片時も早く神疝湯を試みよ

本舗 名古屋市東區京町二丁目 荒川長太郎

宮本武藏

第二百十五席　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

奥州衣川まで參りましたが、道の傍に小社がありましたから是へ參詣をしやうと、來て見るとイヤ何うも甚く大破いたした社で上に額が掲げてあるを見るとたけくら神社としてございます曉雲是を見て　曉「時に二天此のたけくらといふは何神であらうな」二「左樣でございます、私にも一向判りません」曉「參詣をして何神だか判らないといふのも不都合な話しだ、誰かに聞いて見たいものだ』と云つて居る處へ向ふから來たのが四十格好の人物、曉雲是を見て冠り物を脫り手を下げて　曉『少々伺ひますが』○『何でございます』曉『お見受け申しまする處貴下は此の土地のお人と承知いたしますが』○『左樣でございます此の近所の者で』『私共は水戸の者でございますが只今此のお社へ參詣をいたしましたる處、横額にはたけくら神社としてございますが、遂に聞いたことがございません、一體何神でありますか御存知ならば教て頂きたいもので』○『ハヽアたけくら樣へ御參詣をなすつたか、左樣たけくら樣といふは昔からたけくら樣と申しまして、今日までたけくら樣と申し傳へて參りましたのですから、猶且たけくら樣たけくら樣といふので』何を云ふのだか此の人も知らないと見ゑて曖昧な事ばかり申して居ります、其の時何んと思つたか曉雲は、突如格側に飛上つて木連格子を押し開き、社の内へ躍り込んで、二重目の緣りを開いて見ると、丈六人もあらうか身には黒革の鎧を著て上に墨染の衣を纏ひ行者頭巾を冠り、大大刀を横へ大薙刀を突立、脊には七ツ道具を脊負て居りますのは云ふまでもなく武藏坊辨慶の立像であるから曉雲是を見て　曉「何と二天、是に武藏坊辨慶であらう、此の辨慶は高館落城の際討死をしたといふが、此の衣川へ辨慶を祀つたものと見ゑるな」二「然うでございませうな」曉「ハヽア判つた、たけくらと書いてあるから判らないが、たけくらは武藏である、武藏神社とあらば武を修める神と云つて我々共が身に取つては吉徴なことである』と改めて兩人は是を拜し此の衣川を立まして高館へ參り地の理を察し風景なぞを見て、昔に名高き金華山へ參りまして此の風土をも一見して遂に此處を出立に及びまするが是より南部領を指して參りましたが最も路程は餘程でございますが、宿屋があれば宿を取り又百姓家なぞに賴んで泊めて貰ひ、萬一人家が無ければ堂宮へ入つて寢てしまう、兩人とも云はゞ戰場生殘りの豪傑決してそんなことは厭いません、日に歩み夜に泊つて南部領へ入つて參つたと云ふは、此の南部盛岡の城主南部大膳太夫の藩中に石川小太夫といふ人がございます、是は宮本の恩師石川軍刀齋岩流の舍弟でございまして宮本の爲には申すまでもなく師の弟に當る、して宮本の妻おたかの爲には伯父でございます、是が南部家に仕へて三百石を領して居りますから、此の方へ訪ねやうと南部を指して參つたものである、處が四里ばかり手前に參ると日は暮れてしまつた、通宿の所へ行くとは違つて始めての道中殊に城内へ參るのであるから夜中行く譯にはゆかない、然らば此の邊に一泊して明日早く參らうと思つたから人家を探ねましたが更に見當りません向ふの方に大分大破をいたしました古寺がございましたから是を見て二天が　二「彼處に古寺が見ゑますが、今晩は彼處へ參つて一泊を賴みませう　曉「年を老ると叶んもので、今日は八里も歩いたらうな　二「其の位に歩いて居ります　曉「然うであらう餘程勞れた、七八里の道で勞れるやうではもう叶んな、自慢ではないが若い時には三十里は歩いたものだ　二「御年を召すと無理はございません　曉「早く宿を賴んでおくれ　二「承知いたしました」と宮本二天は此の古寺へ來て宿を借ります。

院長　醫學士　森定吉
内科　小兒科
芙蓉醫院
京城本町二丁目　瓦斯會社向側　電話二六二三番

入院隨意
京城南大門通三丁目(巴木商店横入る)
胃腸病院
院主　佐々木杏造　電話一六五九番

暦

十一月十五日　九星
舊十月二十日　丙辰
本命八白　且　取　大安

▲八白● 力まけのする事有る日新事見合東方は吉暗劍殺良 ▲九紫● 嗜よき日轉居入學金談名引求職建築出職祝婚姻發子女を定る等萬吉 ▲一白● 不首尾の事有る日新事手控萬事障礙け妨なし ▲二黑● 利を得す事有る日注意新事手控萬事は吉紹介保證印等を禁す ▲三碧● 義理攻に來る事有る日新事手控萬事は吉貸借の口入等せぬがよし ▲四綠● 平運の日午前不印午後は吉新事手控萬事障碍は妨なし ▲五黃● 外見美にして内不印の事有る日新事手控萬事は吉買物に用心せらるべし ▲六白● 福の神の舞込日轉居開業入學求職家作名弘婚姻貿易新築等萬吉 ▲七赤● 向上の日轉居開業發行女子の勃興たる徳を知られて立身か發す開ぶ報ふべきの日也

質
京城黃金町二丁目　永樂町(停留所北入)
堀佐營業所
(電話六三九番)

月やく
困りの方なきに御は郵券三錢封入左に御照會あれ　藥妙知らす
京城黃金町三丁目　山田志づゑ

蛇印アンチピリン丸
かぜ　ねつ　最良藥
大阪　本舖　平田會
早く治る藥　よくキク藥
●さむけ出て發熱し、頭痛し ●手足だるく、水ばな出る時
本劑を服せば不思議の効あり(壹十錢、十五錢、廿五錢)にせ物有り他の商標に御注意

しらが赤毛染
コクオー
くらべてごらん
如何にコクオーが他のしらが染に優るかを
散髮用金貳拾錢、婦人用金參拾五錢
●コクオーで染た毛は天然の髮毛の如く純黑である……他の品で染た毛は紫色や藍色が多い……ソレは日向で透して見るとミスグわかる
●コクオーは如何なるしらが赤毛でも僅二十分で烏の濡羽色の如く艶よく染り染力は手輕にして至つて便利です
●コクオーで染た毛ハ石鹸や洗粉で洗つても決して褪ません故に襟枕指頭等は少しも汚れる氣遣なく實に重寶なしらが赤毛染です
●まけ、かぶれのくせある人又は皮膚のよわき人は無害安全コクオーを御使用なさい
發賣　大阪堂島元濱町　高橋盛大堂藥局
同心齋橋博勞町　高橋盛大堂分店
●到る處の藥舖化粧品店に販賣す

MITSUWA COSMÉTIQUE.

From carefully selected Mitsuwa Camellia Oil which is widely acknowledged as matchless for hair, Mitsuwa Cosmetic is made by the experts in our chemical laboratory through a special process.

It contains no grease nor injurious substances for hair. It is therefore inalterable and will not be rancid as cheaper cosmetics often do. Moreover an exquisite fragrance is blended to it. Mitsuwa Cosmetic possesses all the essential qualities which improves and nourishes the beauty of the hair and maintaines its vitality, lustre and colour. It is the most perfect one ever known to the art of cosmetic making.

Price 20 Sen.

MARUMIYA SHOTEN.

日本人の毛髪に適する安全なる鬢附油
純植物油製改良コスメチツク
ミツワ固煉油
定價　金二拾錢

毛髪を梳り髷を結ぶに用ふろコスメチツク、鬢附油の類は、多くは動物性或は礦物性の油を以て製造せらるゝが故に、容易に分解腐敗して厭ふべき臭氣を放ち、毛髪の發育並榮養を妨ぐるに到る、然るに本品は最良無比の毛髪油として定評ある新鮮純粹なるミツワ椿油を基礎とし油脂專攻の學者が最新の科學に據り研究案出せる特殊嶄新の方法を以て之を硬化せしめ、温雅なる芳香料を加へたるものにして、本品を在來のコスメチツク或は鬢附油に代用すれば、毫も毛髪を汚さず、倘折毛裂毛を生ずる憂更になく、毛髪の發育を助け榮養を良くし、其の色澤を漆黑艶美ならしめ、容色に一段の美を添ふろことを得、即ち本品は一般家庭に推奬すべき理想的實用美髪料なり。

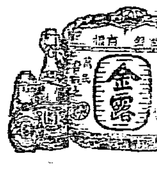
(現品縮寫圖)

ミツワ石鹸　ミツワ家庭藥

東京市日本橋區橋町四丁目　丸見屋商店　振替東京七一〇番
營業部電話浪花三〇四八・四四九・四五〇番

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)
酒井婦人病院
入院隨意　電話二〇一八番

男の生殖器病
生殖器發育不完全で包莖とか陰萎、早漏、遺精、夢精、勃起不全、交接不快、快感減少腦神經衰弱などの人は自宅で簡單秘密に新案特許眞空療法器と原因療藥を併用する時は一回毎に効力が現はれ豫想外の偉効に驚くべく知名博士も其實効を證明し實驗諸氏の賞讃渦が如しハガキで申込あれ圖入說明書無代密送す直接來所者には醫院部にて懇切に說明す
發賣總元　東京神田お玉か池町五　電話神田七二二番
京　眞空療法研究所



攝津灘　大塚釀造所醸製
京城本町二丁目
發賣元　前田酒店
電話一三七番　振替口座四二五番

男子は勿論婦人にも向く
最高美味滋養
體育保全　補血營養
フヱロール

▲婦人の弱きは家庭の不快!!
▲男子の弱きは家運の衰へ!!
故に心して朝夕一杯のフヱロールにて健康の萬全を計りたまへ
定價　●試用瓶二十錢　●中瓶一円　●大瓶一円七十錢　●各藥店等にあり
創業元　大阪道修町　藥劑師　小西久兵衛

消化と毒けし
仁丹
▼旅行に仁丹
イツモ愉快
金言　治國の道は必ず先つ民を富ます(管子)

下山藥學博士、慶松藥學博士證明、田中醫學博士實驗、朝比奈藥學博士、岩川醫學博士檢定
笹川醫學士、加藤獨國醫學士、山田獨國醫學士實驗の結果理想的治淋劑と確定せる
淋病新藥ツヨール
●到處藥舖に販賣
發賣元　東京日本橋川瀬石町十一番地　ツヨール商會
關西代理店　大阪道修町　田邊五兵衛
▲本品は殺菌力强大にして絕對に胃腸を害せず腸内カタル、尿道炎、睾丸炎、腎臟炎、膀胱炎等其他一般急性慢性淋病に偉効を奏す
百粒入壹圓五拾錢　五拾粒入八拾錢　廿五粒入五拾五錢
說明書無料贈呈す

京元　南大門發　[illegible]
湖南　大田發　[illegible]
南行　北行　[illegible]

京城日報
第二版
十四日發刊（夕刊と合せて八頁）

一日四十里遊覽誌

蘇峯生

要きに東人詩話を讀み、驪州の勝を知り、心窃かに一遊を期す。偶ま十一月三日の立皇儲の御禮日に際し、急に前宵より思ひ立ち、同行を糾束す。河水、西村生、朝鮮人にして、日本語を日本人以上に操る方台榮君は、嚮導者也。武井生は寫眞機を帶びて隨ふ。同行五人也。外に自動車の御者として、支那人の壯丁在り。

十一月三日、北門陸の龍巢居を出でたるは、八時に近かりき。然も陰霧未だ霽れず、冷風面を衝く。寧ろ行裝の單なるを悔いたり。一路奔馳、松坡に到れば、乍ち漢江の渡津に出づ。一望渺漫、眞に大江の趣あり。漸く自動車を艀の如き、筏の如き、平らたき輕舟に積み、人と與に渡る。渡り了りて、一息を附けり。

山林と道路とは、寺内前總督の尤も鋭意したる施設の一にして、實を申せば、朝鮮の片田舍には稍もすれば六勝大道路は已むを得ざる限りは、髮の如く一直線に通ず。自動車旅行には、最上の道路也。但だ洪水の爲めに、處々橋梁損し、又た道路修繕の爲めに、往々利刃の如く尖りたる、燧石然たる小割栗を敷くが爲めに、動もすれば頓挫の厄を、免かるゝ能はざるのみ。

宿霧も漸次に消し、日光も出で來る。滿郊の收穫既に終り、唯だ赤唐辛子の彼處此處に、日に乾かされ、白菜の霜を帶びて繁茂するあるのみ。村落には夫婦、父子、兄弟相集まりて、地上に何物をも布かず、又た周圍に何等の防遮物なく、何れも臼を横たへ、此に向て、各々稻束を手にして、敲き附けつゝあるを見る。是れが則ち朝鮮流の稻こき也。籾は蝗の飛ぶが如く、四方に散亂し落下すれば、則ち地上と云はんよりも、土上也。而して間ま藁屋の檐端に、國旗を揭ぐるを見る。彼等亦た今日の祝日たるを知る也。

此邊は未だ銃獵者の、甚だしく來り荒さぬ地方と見えて、雉子が無遠慮にも、往還の眞中に、雞の如く遊び、自動車を距る三間位の所を、悠々として往くあり。或は鵞雁の一群が、自動車の響きに驚き、人を銜いて起ち、我等の頭上に、縱列を作り、又た横陣を展し、頻りに和鳴するあり。道傍の諸峯の蓋より鶏かゝ、鵲が飛び出すあり。我に機心なき丈、それ丈彼我沒交渉なるも面白し。

一路十九里、驪州に著すれば、已に午後一時を過ぐ。此地は漢江の上流を控へ、京畿道の東南隅にある小都會也。郡守憲兵分隊長以下、官民一同、何れも盛裝して、出で迎へらる。蓋し我が一行は、途中より出迎の運場に導かれたる也。予等は諸氏の好意を謝し、時間の餘裕なきを以て、直ちに舟を僦ふて、漢江を溯り、神勒寺に詣る。此日途中より全くの小春日和となり、驪州に到着する頃は、殆んど蝶舞花咲の四五月の天氣にして、漢江澄碧、平にして油の如く、扁舟一葉中流に棹し、雲外に突兀たる鳳門山を背視し、水上に斗出し、綠古驪州の水臨除の役目を務めつゝある馬巖を仰視す。此に於て李牧隱が『揖水功高馬巖石。浮天勢大龍門山。』の觀富なるを覺ゆ。（未完）

朝鮮の古城郭（四）

八木奘三郎

（五）結論

（承前）次に和漢の城郭には戰國以後共に名城と稱せられしもの往々に之れ有り、日本にては、關東の七名城最とも高名にて當時一回も落城せしことなしと云へり、邦は武藏の忍城、川越城、常陸佐竹の太田山城、下野の宇都宮及び佐野の唐澤山城、上野新田の金山城、並に廐橋（今の前橋）城等の三山城、四平城にて、是等は世の名將勇士が皆な名譽ある城郭と稱せしが如し、又支那にては古く漢代より名城と呼ばれしものあれども朝鮮にては嘗て斯る類あるを聞かず、唯だ三國志中の高句麗傳に於東海一築小城一置朝服衣幘其中歲時來取之今胡猶名此城爲幘溝漊溝漊者句驪名城也。とあれば、三國の中には稀れに名城の稱を得たるもあらんかなれども半島内には其適例なく、強て曰はゞ新羅の金城など、其一に居る可しと雖も、之とて我神功皇后の爲めに攻落せられし觀あれば、先づ朝鮮には一も名城なしと云て不可なからん。

次に朝鮮の城郭は三國前後に限らず近く李朝時代に至るも二重三重の例甚だ乏し、之れ築城術の進歩せざる證據にもて、殊に城濠の設けなく、位置形勢の觀察足らざりし爲め、兵一度城郭の一角を通せば直ちに落城の憂ひを免れず、但し此點は支那も本邦に於ける如く兵家の苦心せし點を認む可き形迹なし、識し彼等も此點を知れる爲めにや、其缺を補ふが爲めに多くは城壁を厚く且つ高うして敵の攀登せざらんことを圖れり、然れども如此は抑も末にて一陣崩るゝも二陣支へ、二陣破るゝも三陣之を救ふが如く、城郭の構造も右に關する方法を執らざる可からず、此點に就ては我日本に於て足利時代より繩張りの法を按じ、就中太田道灌の如きは其道に長せし爲め當時に名あり、爾後一國一城の主は皆な斯道の軍學家を聘して力を自己の築城に注げり（未完）

神勒寺に向ふ舟中の蘇峰先生

朝鮮の麻織物（二）

中央試驗所 室田武隣氏談

而かして現在一般に行はれつゝある石灰法に關して吾人の懸念するところは其の燃料にして、三百束の蒸熱に對し平均徑七寸乃至一尺の松丸太三尺もの約六十本を一度に灰燼に歸せしめざるべからざるが故に今後は勿論目下に於ても拔本合に依り其手續困難なるのみならず、鮮内の禿山より之を蒐集することは到底永續の見込なかるべく、更に江原道の如き木材に豐富なる地方に於てすら、燃料の不足に因り年々麻の栽培を減少しつゝあるなり。以上の如く燃料の點より論ずるも灰法は何れにか見込をつけざるべからず。蒸熱法に依るも之を出でざるが故に適當の方法の普及せらるべきは自然の趨勢なりと言はざるべからず。前にも述べたるが如く鮮人地方生産者の經濟狀態にして今一段の向上を見るに至るまでは之に對する設備の方法を講じ生産の助長を計るに非らざれば依然舊套を脱する能はざるや論なし、故に目下の如く一部內僅かに一、二箱の設備に放任せんが如きは極めて姑息の措置にして、之が實際的使用を奬勵せんとするには其の生産組合の如きものを組織し之を備へて共同使用を爲すに至らば其の利便効果蓋し尠少ならざるべしと信ず。

△機臺の改良 機臺の改良に先ちて研究すべき事項は其の織らむとする絲質の強伸力如何に在り、即ち麻絲は強力に富めるも伸力並に彈力に乏しく、其の質の脆弱なる綿絲、毛絲等に比すべくもあらざるなり、殊に朝鮮の麻絲は手工に依りて之を製絲し、緊連したるものなるが故に之を織らむとするには經の強力を加減し得らると云ふよりも寧ろ少しの緊縛なく、絲の自由なる機臺に依らざるべからず、然るに改良と稱して三角機の普及を計れるが如きは根本的の誤認に陷れるものにして現に之が使用者の見るの事實に徴するも自ら明らかなるところなりとす。又内地に於ても麻織には現在一般に居座機を使用しつゝあり、其他に機、腰機にせよ、張力に於ては到底居下の狀態に於ては全く在來機に委居座機の如く自由なる能はざる故にするの外なし、然りと雖も居座機の使用は甚だ迂遠にして生産力に乏しく、時代の要求に伴はざるが故に改良機の使用をなすは自然の趨勢と云はざるべからず、而して此の目的を達するには左の何れかを採らざるべからず。

（イ）經繩の經路を改良し彈力及び張力を保有せ……（ロ）……最も良好なりとす……（ハ）……すべきこと明かなり……

△精練漂白の改良 從來は灰汁を以て練り天日を以て漂白したるも、此の方法に依る時は純白なる製品を得る能はざるのみならず、光澤を毀損し、且つ多くの日子を要し到底好結果を收むること不可能なり、精練漂白の改良に關しては目下研究中に屬するも、漂白粉を基礎として之に天日晒しを加味すること目下の情態に於て最も當を得たる方法なりと思惟す。

大阪財界通信

△石炭供給不足高 本邦に於ける石炭總産額は二千三百萬噸に達し內地消費千七八百萬噸海外輸出四百五十萬噸を差引ける十五萬乃至二十五萬噸はストックとして繰越されたる高戰前百五十萬噸位に達し昨年十月頃も尚此の額を維持し居たるが近時國內の新工業著しく擴張に依る石炭の需要激增したると事業界の狀況に連れ工夫の拂底を來し生産額俄かに減少せるより各地の在荷も著しく減少を見目今にては百萬噸內外に過ぎず如上の理由にて大體需要供給の權衡取れず爲めに價格は騰貴の上にも昂騰を續け從前一噸平均値三圓內外を唱へ居たるもの昨今にては七圓以上を唱ふるに至り斯界の大勢は前途尚供給不足の爲め昂騰一方なるべしと

△セメント近況 近セメントの市價は時局以來昂騰しつゝあるが戰前に比すれば約二倍の騰貴を演じ居れり從つて斯好況裡にあるを以て既設會社の擴張並に新設會社の創立計畫頻出せる由にして即ち日本セメント倍額を初めとし櫻セメントの三倍淺野セメント及び日本セメントの新設計畫更に新設會社に見るに滿洲帝國名古屋の東洋は既に其創立の計畫中にある由なれば之が實現の曉には結局戰前の生産能力の約二倍を增加する勘定なり因みに目下各社の總生産能力は六百萬樽なりと

△煉瓦益々好望 經濟界の好調に伴ひ各種工業勃興となり事業擴張其他新設築も頻出せるを以て近時煉瓦の需要增大したるも各煉瓦會社は多大の注文を拒絶し以て既約品の納入に努めつゝあり現在の各社の既約高は約二千萬本なるが一方年內での製品見込高は千五百萬本に過ぎざれば結局五百萬本の不足を生ずる勘定なれば今後市價の如き騰貴の氣勢なりと消息通は語れりと（大阪支局）

日報詩壇

觀楓雜詩　本田芳洲

溪回山轉路縈環。吟到溪山奇絶間。斜日紅楓秋雜影。匝如鮮血染波瀾。

楓樹迴環水亂流。夕陽十里錦波浮。白雲更有源頭趣。來映溪山明麗秋。

崗溪曲曲路斜斜。流水鳴琴聽不譁。吟入洞天紅葉麗。夕陽燦見九春花。

巒碧溪山楓樹滋。吟筇來趁九春時。天機織出秋之錦。曬在夕陽多處披。

紅葉如花錦爛斑。千林秋色映酡顏。夕陽斜臥佛堂裡。夢繞樊川題壁山。

錦野欲將霧漾漾。石徑踏霜尋梵宮。日出一山紅葉麗。燦然曬錦嫩晴中。

路入寒山曲曲分。梵王城外欲斜曛。霜楓悄聽僧鐘落日。鋪宮心未盡著踏錦。人此際猶迎乳。抗手餘霜散綺峰。

許曰　首首絢爛明秀、色彩奪目、

日報歌壇

京城　嶺城　霞江

君に似し瞳うつれり悲しげに雨に濡れたる夜汽車の窓に

思ひ出は露にしめりて白き花あまた咲くなる君住める森

鋲鳴りぬ際限もなき荒野より一人旅して街に入る時

京城　藤村　幻花

身にかゝる大事の如くわが戀を世にいひふらす人もありとか

暫らくはわれ等歌はずこれやこの戀を靜かに味ふべけれ

仁川　笹村　紅路

久方の秋の日こもる森に見る眞盡の海の青かりしかな

秋の陽のひそかにこぼる森の路海こそ見ゆれ靜に歩まむ

下關期米特電

▲十三日後場　兵庫後寄十六圓十九錢東京十六圓五十九錢大阪前止十六圓五十二錢後寄五十五錢の入電二圓六十五錢と高移りにて高値四十三

仁川期米

れたるより見りは利喰に押されて物多く五十八錢と押したるが押目は又買物あつて保合五十八錢と殆會な告げ其他より買物ありてたり況は大阪安を報ずるも安値には實物薄なるに高値に保りには買物薄にて結局保合に終つたも強氣も今後の成行や如何

▲全能く賣る　後場同店より賣りたる手數四千餘石に上りたりとの事にて注目を惹いたり

▲言能く買ふ　後場同店より買ひたる手數五千餘石に上りたりとの事にて注目を惹いたり

▲⑪の商內　後場同店より賣たる玉數二千餘石に上りたりとの事にて注目を惹いたり

▲目先の相場乎　大阪の成行は今前場十六圓

▲現物界　良湖新米十二圓五十五錢より十二圓四十五錢迄　遠山新米十一圓七十五錢十二圓五十錢等にて賣物多く賣氣配十錢安見當を唱へ居れり

十三日の一ヶ月限

平均　一節　二節　四節　十一月限　十二圓六十錢　十二圓五十九錢　十二圓五十八錢　二萬千六百五十石

讀書作文界二大寶典特價提供

伊藤東涯先生著　重野文學博士閲　村山德淳先生校訂（原本十三冊縮冊全壹冊）
第拾壹版　操觚字訣
布裝菊半截八百餘頁　特價壹圓送料八錢　清鮮卅錢　臺樺卅錢
本書は東涯先生一代の大著にして其內容の豐富考證の該博にして且正確なる實に作文辭典の最大權威を有するもの也

荻生徂徠先生著　小泉秀之助氏校訂　附東涯先生著　用字格
第四版　譯文筌蹄
四六版布裝九百六十頁　特價壹圓參拾錢送料十二錢　清鮮四十錢　樺臺三十錢
▲二書共特價五千部限▲
操觚字訣と共に讀書作文界の二大辭典にして縮冊刊行に方つて內容組織を改修し五十音に排列し更に添ふに東涯先生の用字格を以てす去れば中學程度の漢文及作文科參考として座右缺くべからざる書也
發行所　東京市京橋區疊町　須原屋書店　振替東京四一五七　電話京橋一九六〇　賣捌各地書肆

（カタログ進呈）
船用石油發動機
品質本位　船舶用　陸用　石油發動機
株式會社新潟鐵工所東京出張所
東京市麴町區有樂町三丁目五番地　電話新橋（長）九九六・九九七番　電略（ニト）

紅松、杉松、角材、廿一尺以上三十六尺延丸太材各種入荷
本年は各河川本支流共減水甚敷一本流しを以て流下し今後年內猶ほ數千本著荷す
當商會は千古未曾有の斧鉞を加へざる汪青縣の大森林地域數ヶ所に伐採場を特定し約三倍の運材費を投じ專ら雄幹良質の選伐を爲すが故に卓絶なる優良品として疾くに其名を識らるゝに至れり
價格は他品と大なる差なく徒に其壁の安きに似て製產額少なき不良材よりも採算上寧ろ利得なり
本年は更に數ヶ所の伐採場を增設し紅松杉松落葉松白楊胡桃楡楢相木其他の雜木も織に搬出の準備を爲す
當商會は從來南春の出張所の外新に大阪市南區木津川一丁目に出張所を設置し內地は勿論海外輸出の目的を以て販路擴張に努む
御注文に依り短尺もの又は經三尺乃至五尺內外長四十尺前後又落葉松杉松紅松の丸太材は長八十尺迄の引受を辭せず尤も特種品は御注文にあらざれば伐採せず
一日武拾五萬才以上の賣買に付ては特に割引をなす

一支那領豆滿江木材各種販賣
咸鏡北道淸津府實町
木材竹材繩叺筵商　穀物セメント
伊東商會「電話六二番」

是非御利用を乞ふ
朝鮮唯一の文房具問屋
京城南大門通二丁目（振替口座京城一〇五八番）
堀井謄寫堂京城出張所

講師＝東京高等工業學校教官執筆
工業講習錄　建築科
會員大募集
◎只今入會者には
△大特典あり
△入會金免除
△雜誌工業生活無代進呈
◎外に其の他種々の大特典あり
應用化學・機械科・電氣工學（一期・二期）の四大科講義錄あり。
◎見本規則書付無代進呈
◎學科目
△物理　△化學　△建築沿革　△英語　△數學　△日本家屋構造　△西洋家屋構造　△規矩法　△建築製圖　△建築材料　△建築架構　△測量　△大工實用計算　△施工法
會費　一ヶ月金三十五錢　三ヶ月金壹圓也　一ヶ年金三圓六拾錢
大日本工業學會　東京市小石川表町一〇九

胃腸最新藥
チゲスチン
日本歐米十三ヶ國專賣特許
胃腸疾患、食慾不進、胃病後の恢復期、營養補給の目的にて腺の疾患小兒の營養不良等に賞用せらる
常用すれば血流を增し精力を盛んにす
◎說明書送呈
東京本町　藥種問屋　合資會社　圓城商屋

從業二十年
秘密調査
婚姻身元は市內僅か貳圓五拾錢
其他何事に依らず御依賴に應じます
▲規則書・代送呈
▲報告書週間以內
◎他に經伊問合部あり市內どんな事でも問合せて返事す壹件金五拾錢
東京芝門前　電話芝一八七六番
東京探聞社

○電信修技生募集

當局電信修技生十五名ヲ朝鮮人ヨリ募集ス詳細ノ事項ハ十一月十三日以降朝鮮總督府官報又ハ當局從事員教習所ニ就キ承合スヘシ

大正五年十一月十三日

朝鮮總督府鐵道局

新刊圖書御案內

書名	著者	定價
朝鮮現行官制官規	萩松堂	一、七〇
同 民刑法典	同	一、五〇
同 警察衛生法規	同	一、五〇
朝鮮地方行政法規	同	一、四〇
同 租稅及會計法規	同	二、〇〇
同 土地林野法規	同	一、五〇
同 水產法規	同	一、〇〇
同 教育法規	同	五〇
同 交通運輸法規	同	一、〇〇
同 現行諸法典	同	一、八〇
債權總論講義案	鳩山秀夫	一、七五
物權法提要 第一卷	三潴信三	一、七五
經濟原論 上卷	山崎覺次郎	一、〇〇
債權各論 前編	濟藤一郎	一、六〇
大正の青年と帝國の前途	德富猪一郎	一、八〇
弱者の爲に	杉村楚人冠	一、二〇
龍文講話	山本茂	一、八〇
大正六年度日誌いろ〳〵	澤山著荷仕候	

萩松堂書店　京城本町二丁目

◎未曾有の大空中戰

英軍悉く獨飛行機を潰亂せしむ

巴里來電＝ソンムに於て大空中戰ありたるが結局獨逸飛行隊が英軍戰線を横斷せんとせし企圖は悉く失敗に歸したり初め獨軍は飛行機隊を以て大遠征を試みるべく行進を爲したるを我が偵察隊の探知する處となり各十臺より成る英軍飛行隊は獨逸飛行隊が英軍戰線を横斷せざるに先ちて之を攻撃せり其の際獨逸飛行隊は少くとも三十七八個のフオツカ式及びランバー式飛行機を飛ばして會戰したるが其の光景最も壯烈を極めたり折柄機關砲は爆發を發して旋回砲の音響と相和して物凄く勝敗久しく決せざりしが其の中獨逸フオツカー式飛行機戰鬪力を失ひ敗勢を威せしむる程延較すると見る間に火炎を發して破裂し蒼地に地上に墜落したり其の時英軍の一飛行機は續いて來れる敵の飛行機二臺を撃つて大損害を與へたるが英軍飛行隊は始終優勢を示し全部敵の飛行隊を潰亂せしめたり敵の損害は英軍の損害よりも甚だしく當分獨逸軍は重ねて斯かる企圖を敢てする事なかるべし(倫敦電報)

◎許世英辭職不許可

黎總統は十一日附を以て交通總長許世英氏の辭職を許可せざる旨發表せり又段總理は特に天津に人を派し許氏を慰撫したり要するに總統並に總理が許氏の辭職を許さゞるは今の時に於て許氏去らば現內閣動搖の虞れあるを以てなり(北京特電)

◎莫大小禁輸延期

英國政府は莫大小の輸入禁止實施期を十二月末迄延期せる旨其筋に電報ありたり(東京電報)

◎陞敍

十三日附を以て左の如く陞敍ありたり(東京特電)

敍從四位 前朝鮮總督府事務官正五位勳四等 川上常郎

◎林公使出迎

奉天省長は林公使出迎の爲め十四日朝町野顧問于沖漢等を金州に派遣せり(奉天特電)

◎德富氏釜山着發

貴族院議員德富猪一郎氏は十三日午後七時釜山着同八時三十分解纜の高麗丸にて歸東せり(釜山特電)

□皇后陛下行啓

皇后陛下には十三日午前八時四十分宮城御出門千種典侍御陪乘學習院女子部に行啓あらせられ御先著の東伏見、伏見若宮、梨本宮各妃殿下を始め大迫院長以下の奉迎を受けさせられ樓上便殿に入御前記各宮妃殿下並に御在學中の各姫宮殿下に御對面あり軈て君が代奏樂裡に玉歩を式場に運ばせ給ひ幼稚園生徒の唱歌三年生小松たき代子の朗讀(兒島高德)其他を聽し召され更に各生徒の手藝並演英語對話割烹等を御覽あらせられ午後一時各員生徒等の奉送中に御機嫌麗はしく還啓相成りたり(東京特電)

◎駐支英使歸國

駐支英國公使ジョルダン氏は十六日歸國の途に上る事に決せり(北京特電)

◎鮮牛敦賀移出

敦賀港洋行の計畫に係る北鮮牛移出は八日城津より二百五十頭を宗谷丸にて發送せしに途中大暴風に遭遇せし爲病牛を生じたるも十二日朝無事敦賀に入港せりとの報あり(敦賀電)

◎道路網と新計畫

改修濟道路一千百余里

朝鮮全道に企畫せられたる道路網の總延長は一等道路七百七十四里八分二等道路二千二百九十八里計三千七十二里八分を算し此の總延長里程に對して竣成せば國費及地方費に依る治道工事は全部完結を見る譯なるが、其の內統監府時代に於て改修濟となれるもの二百五里四分の外總督府直轄第一期改修計畫たる六百八十五里の內に在りても本年九月までに於て既に五百八十里四分の改修を了し殘部の百四里六分は六年度中に於て改修濟となる可きを以て總督府にて更に本府直轄

▲第二期改修計畫 を樹て大正六年度以降六箇年の繼續事業として四百七十七里二分の道路を改修す可く大正六年度豫算より其の費額を計上せり而して一方國庫の補助に依り地方廳に於て施行す可き改修道路三百九十五里の內三百十七里五分は大正四年度末迄に修了したりと云へば其の餘す處は僅々七十二里五分に過ぎず、之れ亦た遠からずして其の完成を見る可し。之に依て見るに既上の計畫に基く改修道路の總延長は一等道路六百三十五里二分、二等道路一千百二十七里七分、合計一千七百六十二里九分にして全道路網其の內既に

▲改修濟の延長は一等道路三百七十八里九分、二等道路七百二十四里四分、計一千百三里三分に達し之を改修計畫延長に於て道路網の總延長に對比すれば一等道路八割二分、二等道路五割、通計五割七分に當り又た改修濟延長に於て一等道路四割九分、二等道路三割二分、通計三割六分を算せり、尙ほ此の外に地方費及び賦役等に依り地方廳に於て假改修を了せるもの七百二十四里に餘れるも這は將來多大の改良工事を要するを以つて茲には算入せず又た道長官の指定せる三等道路網は本年九月末現計に於て其の延長二千八百九十里六分を算し地方費及び夫役等に依り地方廳に於て改修せるもの六百二里四分を算せるも茲には控除せり

◎大學林調査期

東京、京都、東北、九州の四大學に對し總督府より演習林として貸付せる江原、慶北、忠北三道管內に於ける林野に關しては其後各大學に於て其れ〲職員を派し演習林經營に付各種の調査をなす處ありしも未だ具體的の施設に著手せるものなきを以て林野整理上急速に之が施設を希望する所ありしに總督府より關係大學に對し其々照會する所ありしに此程各種の施設計畫に關し目下調査進行中にして早晩調査の結了を俟つて具體的の施設に著手すべき旨回答ありたりと

◎仁川の酒醸造

仁川府管內に於ける清酒製造は明治二十九年以降漸次其の造石數を增加し大正二年度に在りては實に四千五百餘石を製造したりしも移出米穀の關稅撤廢以來內地製酒類に壓倒せられ自然造石數を減じ大正三年度に在りては三千五百石となり四年度には遂に二千三百四十石に減じたり而して其間に於ける各製造業者は極力釀造方法に改良を加へ醇良なる酒類を醸出し以て內地酒に持抗するの外なしとし兩三年間苦心經營の結果近來釀造非常に進歩し殆んど內地製に對し遜色無き酒類を釀成する事を得るに至れり依て一方には販路を擴張し朝鮮內鐵道沿線は勿論遠く滿洲方面に輸出し漸次斯業の發達を圖らんと計畫しつゝある矢先時恰も酒稅令實施に際し各製造業者は課稅の尙早を云爲し移入酒に對する戻稅を撤廢するにあらざれば到底內地酒の壓迫を免れ得て望む可らずとなし殊に九月一日附發酒課稅の如き重複賦課の撤廢を訴へ或は業を廢せんとし或は造石數を減ぜんとするの形勢なりしが施行後日を經るに隨ひ酒價益々昂上し殊に昨年度內地に於ける製造酒類の品價一般に良好ならざりし結果優良なる酒類は拂底を告げ最近に至り價格比較的高く隨つて移入少かりしを以て當地製造の酒類賣行好況を呈し今や殆んど移入酒を壓倒し酒稅令實施當時に於ける當業者の形勢は漸く茲に一變し本年度見込高二千六百石にして昨年に比し約三百石餘を增加し尙ほ益々增石せんとするの傾向あり此狀勢を以てせば仁川府管內に於ける本年度清酒製造石數は約三千石に達す可く各製造元も非常なる意氣込みにて目下製造に著手しつゝあり然して此れが販賣狀況は酒稅令實施前に在りては價格の競爭甚しく多少濫賣の傾向ありしが實施後に於ては課稅の關係上各販賣者は競爭を避け同業規約勵行の下に九月一日以降今日迄清酒一石に付五圓宛二回の値上げをなし目下地酒賣相場一石二十四圓を以て取引しつゝあり而して移入清酒に於ても地酒同樣の値上げをなしたるを以て卸賣相場一石四十圓となり相互の價格著しく懸隔あるにも拘らず其の品質に於てさしたる差異なきに依り經濟上需用者の多くは地酒を購買せる結果以來移入酒の販路捗々しからず漸く上流社會の一部に使用せらるゝが如き狀態となり殆んど地酒に壓せられたる者の如し輸移出入狀況は管內酒造業者にして大連又は靑島等に清酒を輸出する者あり此等は一箇年約三百石餘なりしも酒稅令實施後は戻稅の關係上進んで輸出すべく畫策しつゝ有る者の如く輸入は一部外國人の手に再製酒又は蒸餾酒の少量に止まり特記すべき程にあらず移入は大正四年中清酒三千九百九十石なりしを以て現今の狀況より推す時は本年度は前年度より約三割餘の減を見るに至らんか(仁川支局)

◎內鮮農產品及其加工品の出入狀況(十二)

朝鮮農業開發の根本研究

▲屑生絲 製糸絲を併せ其の輸出額多きは大正元年の九百七十萬斤千五十萬圓少きは大正三年の三百八十萬斤四百六十萬圓にして佛國を主とし伊太利及び北米合衆國に輸出す絹絲紡績用編物用又は下等絹布製織用に供す

▲紡績絹絲 大正元年迄は三十四萬斤百三十萬圓に過ぎざりしが大正二年以後は五十萬斤二百萬圓以上に及べり其の輸出先は英領印度を第一とし英國之に亞ぎ佛米二國各少額を需要す

▲眞綿 輸出額年に增減あり明治四十四年の二萬六千貫五十萬圓より累進して大正二年五萬七千貫百五萬圓に達し爾後遞減して大正四年二萬九千貫四十六萬圓となれり輸出先は北米合衆國にして年に依り伊太利に需用あり

▲打綿 紡績落綿に支那產下等綿絲を混じて製綿したるものにして被服の中入用たり輸移出額五六十萬圓にして百萬圓乃至百三十萬圓の間に在り仕向先は東洋方面にして朝鮮六割、露領亞細亞二割、支那臺灣各一割を占む

▲綿絲 紡績絲の生產高は大正二年以降五億斤以上に達し內三分二を同地消費とし輸移出向織物用に供し三分一を綿絲として外國に輸出す其の輸移出額は年々消長あり殊に綿價の變動並に最大仕向地たる支那に於ける銀貨相場の騰落甚しきに依り價格の數量に比例せざるものあり明治四十四年迄は八千萬斤四千萬圓をレコードと爲したりしが大正元年には一億一千萬斤五千七百萬圓大正二年には一億四千五百萬斤七千三百萬圓、大正三年には一億七千萬斤八千百萬圓、大正四年には一億七千萬斤七千萬圓を示せり、右の如く數量は順次增加を示すも價額の大正四年に減退したるは大正三年に於ける原綿の暴落に伴ひ生產費低下し廉價輸出を爲したるに依る、本年に於ては相場引戻し結果三箇月間の輸出價額は前年に比し二割增を示し前途樂觀す可し輸出先は八割迄支那にして香港一割朝鮮關東州比律賓英領印度各一步乃至三步を占む

▲藁稈製品 主要品は繩、叺、莚、疊表、麥稈眞田、同帽子、經木眞田、花莚、疊表、柳行李及び鞄、鷹莚等にして其の價額明治四十年千百萬圓を示し大正二年には二千萬圓餘に達し大正四年には一千八百七十萬圓に減せり其の內繩及び疊表の如きは年額百萬圓以上にして大正四年には百三十八萬圓に達したる花莚の如きは輸移出先は小部分を臺灣及び東洋各地に輸移出し其の他の九割は常に朝鮮に輸出さる

◎黃海道穀物作

▲穀物作況 昨年の豐作に對比すれば地方により約一割乃至三割方減收の見込なれども概して昨年に比し一割內外の增收なり而かして粟、大豆、黍、蕎麥等は管內を通じて各地共一般に豐作にして之を平年に比すれば三割乃至四割の增收に當り殊に粟の如きは松禾分遣所管內に於ては昨年に比し三倍に達せる地方あり但し市邊分遣所管內は早冷の結果粟及び稻作等平年より二割乃至三割の減收なり以上の如く連年豐穰相次ぎ殊に近來家畜及び穀類騰貴の爲め地方の經濟狀態は順調に在りて各市場を通じ購買力增加の狀況にあるを以て本年度の納稅も好結果なるべし

▲大豆取引 目下京城[illegible]三井物產、仁川出張所在神戶鈴木商店等は新穀大豆を根據として各自買占めに奔走し競走劇甚を極め爲めに相場は日々に暴騰し昨今一石八圓となり昨年の當期四圓內外なりしに比すれば實に二倍の騰貴にして仁川其他の穀物等は手控をなすに至れり

◎兒玉伯歸東

入京中なる內閣書記官長兒玉秀雄伯並に同夫人は十四日午前八時三十分南大門驛發にて東上の途に就くべし

◎釜山先月水揚高

釜山水產會社十月中水揚高は三萬八千九百九十四圓餘にして數量に於ては七萬五千五百四十六貫目船數は三千七百十二艘なるが之れを前年當月に比すれば金額二割六分數量三割八分船數二割四分の減少又同月平均價額は二割七分の減少比を呈す其漁獲中重なるものはさわら六、九〇〇圓鯛五三九九圓、大ぶか五二四九圓、平目五一九六圓、あじ三三一〇圓、さば二三四三圓、ぐち二一八七圓、たち一九二七圓等なり而して不漁原因とする處は何れの方面よりも影響を蒙り居れるが第一天候の險惡なり卽ち雨天十三日晴天十八日なる中にも風浪の烈しき時季の不漁日を除すれば出漁日數は僅々十三四日に過ぎざれば全く不漁の結果と云ふべし剩へ漁業期の九月以來各漁場は虎疫の襲來により漁撈禁止或は出漁夫は停留命令に接する等其他內地より同期節に出漁渡來船も虎疫の傳染を避けん爲め歸國する等虎疫の影響も又小ならざりしと共に一方魚肉の需要者は前記の虎列拉菌を恐れ用ひざりしのみならず魚肉禁食令さへ嚴命せる地方あれば自然市場の盤價は上らざりしが如き點も素因するもの如し(釜山)

◎製絲場工女募集

京畿道恩賜製絲場にては益々擴張の計畫を立て新築工事中なりしが其工事も本月末日を以て落成すべきにより十二月一日より新工場にて製絲を開始することゝなり今回新に四十名の工女を募集中なり同工女は鮮人女にして入場の最初は食費及び若干の手當を給し約三箇月後に相當の熟練を有すに至らば食費外に五六錢の手當を給する由にて既に三十餘名の申込者有るも尙希望者は至急申出づ可しと

轉居
旭町一丁目百三十番地
阿部充家

人事

▲西崎鶴太郎氏(鎭南浦商業會議所會頭) 十四日自働入京旭尾に投宿
▲和田土地調査局總務課長 十一日黃海道及び平安北道へ出張
▲奧寬一郎氏(大藏省技師) 十三日夜退京
▲大橋長一郎氏(實業家) 同上
▲廣岡恕三氏(鑛山業)▲非溪駿太郎氏(鑛山業) 十三日夜入京朝鮮ホテルへ
▲アダムス氏夫妻▲ロング氏▲オルドイス氏夫妻▲トツトク氏▲サーベリ夫人(以上米人)前

南言北語

米國大統領の選擧戰は世界でも無比の政戰である候補者連も政見發表には種々の苦心をする▲今回の時もヒユース氏は何時も演壇に立つ時には妻君と娘とを伴つて居た▲娘などは大變な美人であつたから若い聽衆の胸には非常に好感を與へたらしい▲ウイルソン氏も負けずに新夫人を伴ふ▲之れもなか〳〵の美人だが元來ウイルソン氏の結婚は尠からず國燒連の反感を買つて居たので餘り好感は與へなかつた相な▲而してウイルソン氏の當選したのも夫人の努力が大に預つて力ある事▲ウイルソン氏の再選は歐米諸國の間には頗る重要視されて居る▲スタンフオード大學のジヨルダン博士などは▲ウ氏は平和調停に固い意志を抱いて居るから來る議會に於ては極力歐洲の平和に盡力する處あるべく六ケ月以內には必ず平和の曙光現はるべしと聲明して居る▲扨て何うなるか歐洲戰も益々興味が深くなる▲歐洲戰と云へば巴爾幹の雜軍は大分勢を盛り返して來た觀がある▲戰爭は兎に角勢だ此の勢で一と奮發やつて喜ばせて貰ひたいもの▲滿洲踊りの伊東知也君國民黨の總務室へ『騎驅來』と題する長篇の漢詩を壁一面に貼り付けた▲伊東君と巴布札布と肝膽相照す仲で伊東式獨特の罪のない詩だが惡戲者の前川幹事の筆と覺しき朱筆が加へられてある▲『東方豪傑皆奮起』とあるのを『酒田豪傑獨奮起』と直し▲『長袖由來不饒足』を『無由來不談足』とやつた處などは却々振つて居る相な

元山

▲元山の初霜 元山地方は十一日夜來俄に寒氣加はり十二日朝に至り[illegible]

[illegible]成南第三回稻作の豫想を聞くに第二回豫想發表後格別の天變地異なかり[illegible]

[illegible]の演習 元山大隊に於ては目下服務中の二年兵を近く歸休除隊せしむる[illegible]其の行軍力及び戰鬪力の程[illegible]

[illegible]其穀價を高むると共に各地より不絕大口の注文ありと雖も昨今恰も農[illegible]の不足數百[illegible]算せりと

春川

▲[illegible]大尉歸鄕 春川憲兵分隊[illegible]に酬ゆる印となし備九日午後六時より[illegible]警務機關其他有志相圖り送別の宴[illegible]り主客十二分の歡を盡し午後九時無事解散[illegible]

▲歸還兵出發 [illegible]市中一般國旗を掲揚し官民各學校生徒[illegible]

▲[illegible]講習開始 春川公立普通學校に於ては十一月十五日より十二月二十日[illegible]

◎良妻賢母

◎女子の本分

▲料理と作法を心得ぬは女一生の損

▲嫁入に五荷の仕度にも勝る貴くして重寶なるは板垣伯夫人會長大隈侯楠木男顧問の東京割烹講習會發行家庭料理及び禮法の講義錄なり

▲料理の秘傳と作法の奥義 秘傳と奥義は夫れ〲料理の家元や禮法家の家傳にして從來なかなか之を傳授せざりしが同會は家庭料理及び家庭の改善を主義として立てるものなれば如何なる秘傳奥義もどし〲講義錄に掲載公開されたれば志ある人は此機會を逸せず早く入會して之等を會得せらるべし左に其內容を說明し本紙愛讀者に勸む

▲禮儀作法と家政 禮儀作法心得の有無は人の品位に關するものなり然るに人々日常行ひ居る事の中に判らずに行つて居る事間違た事半信半疑の事等多々あれば重きをこゝに置き實用的說明をなせり例せば▲各場合贈答の心得▲日常の禮▲座り方、立ち方、歩み方▲媒酌の心得▲婚禮の心得▲西洋食卓法▲日本食作法▲忌服喪儀心得其他を圖入りにて說明し家政に於ては一家の內政を掌る人の是非心得べき事を詳細說明せり

▲年中行事と料理 ▲菊見▲七五三▲歲暮▲大祓▲お正月▲門松▲正月飾り▲年越等の年中行事より▲婚禮式▲出產▲誕生▲還曆▲古稀▲喜の字等の人一代の行事を故事慣例を參照して其出來及び心得を說明して各場合の料理を講述す

▲日本料理 ▲一般家庭向惣菜料理を主とし▲卽席料理▲安價料理▲晩酌料理▲野菜料理▲老人、小兒、病人の食物▲松茸栗飯の炊き方より▲會席料理▲本膳料理▲各種儀式料理等を說明す

▲西洋料理、一品料理▲日本人向料理▲各國の料理▲家庭用輕便食パン製法▲コーヒ及び紅茶の入れ方▲西洋人日常の食事其他澤山あり。

▲支那料理 支那料理は世界各國の料理法中最も進歩せる贅美に富めるものなれば每號其料理を講述す

▲和洋菓子製法 家庭の娛樂と實用を兼れたる高尙なる和洋髙級の菓子の製法を說明す

▲漬物の漬方 漬物は日本の食事の必要品にして一見容易なるが如くして鹽の加減に至りては實に六ケ敷ものなり其の上手下手材料の撰擇等は一家經濟にも關するものなれば心得べき事なり。

以上の各課目總て同會附屬帝國女子割烹學校と禮節研究會とにて斯道の大家の研究教授せるもの

名さへ讀めれば誰にも判る様親切に編述せる實用的通信講義錄にして實際よく判る故今日迄に男女十有餘萬人の卒業者を出せり。

▲今回新學期を開始 全國に向つて男女會員募集中なるが會費は一ケ月僅かに金五十錢三ケ月一圓四十五錢六ケ月二圓九十五錢一ケ年五圓六十錢にて半年卒業一年卒業なり而かも毎月發附さるゝ美麗なる講義錄は後に纏めれば立派なる藏書となり一生の相談相手となるべし。

▲入會手續きは 總て申込の簡便にて「ハガキ」に講義錄送れと書て申込めば直に會員として送本し會費は後に郵便局より集金に行く故送金の手數もなし目下新學期開始中故入會の好機會にして

▲五大特典 入會金免除、料理必携進呈、六月前納者に家庭寶典進呈、一年前納者に婦女鑑進呈、紀念メダル進呈

▲此上もなき入會者の利益 ▲內容見本と規則書を一見したき人には申込次第無代進呈しつゝあれば遠慮なく申込まるべし

東京本郷元町一ノ三 東京割烹講習會へ申込 振替口座東京一九四一〇番 電話下谷五六九二番

……年に……十七日晩からしと▲咸南稻作豫想……割五分増收の見込なりと▲元山大隊……部の特產物たる永興紬は近時倍……る商人ありて今尚注文に對する出荷……官民は記念品を贈呈し在職中の厚誼……小林智氏の惜別の辭に……井氏の答辭あ……

陸軍特別大演習

▽還幸の砌 武庫離宮へ

大元帥陛下御還幸は演習地より海路神戸に御上陸の御豫定なりしも御還幸の事に御變更此の旨仰せ出されたるが御鹵簿は十六日午前八時四十五分博多驛御發輦同十一時十一分門司驛御著正午下關御發輦午後二時三十分三田尻驛御著毛利公爵邸に御一泊十七日午前六時廿分三田尻御發輦午後五時三十五分武庫離宮著御一泊十八日午前九時十分須磨驛御發輦同三時十五分名古屋著御離宮に御一泊十九日午後四時四十分東京著御還幸の御豫定なり（十二日午後七時福岡にて金谷特派員發電）

▽太宰府 慘澹たる市街戰
明石師團の機關銃隊の奇功

十二日夜十時北軍は一齊に博多東北方に向つて退却北軍柴(五)中將の小倉第十二師團は太宰府、宇美、植木の線を小原中將の廣島第五師團は鐵道線路を退却二日市南方にて一大夜戰あり南軍明石中將の熊本第六師團は小島村附近にて敵の後衛一個大隊を三個聯隊にて猛烈に攻擊し十三日午前三時遂に之を擊攘追擊す茲に最も慘澹を極めたるは夜半太宰府に於ける市街戰にして南軍明石中將の率ゆる第六師團の一個大隊は機關銃二挺を以て北軍の退路深く太宰府に先行し恰も柴(五)中將の小倉第十二師團の退却中なるを側面より猛射し敵の二中隊を全滅せしむ斯くて退却中なる小原中將の廣島第五師團は十三日午前六時迄に其の主力を博多町の松原附近に集結し柴(五)中將の第十二師團は一旦植木に其の兵を收容せしが更に北方多々良川左岸に退却大隈より和田に亘る線を占領したり小原中將の第五師團は多々良河口なる箱崎より土井に亘る線に據り總豫備隊を遠木に配し騎兵を博多北方に收容す此の戰鬪にて柴(五)中將の小倉第十二師團は潮の如く押寄する明石中將の熊本第六師團を押へつゝ防戰最も努めしが終に十三日午前十一時より又復退却の已むなきに至れり南軍司令官大迫大將は此の機を失せず益々猛烈に追擊し敵を粉碎せんと準備おさ〳〵怠りなし（十三日午後二時四十五分白井にて金谷特派員發電）

◎大演習陪觀外國武官

今次の大演習の陪觀を許可されし外國武官左の如し

支那步兵少將　唐問先
米國步兵大佐　ジエームスエーアイレンス
露西亞大佐　モーレル
英國步兵中佐　ジエーエーシーサマヴイール
智利砲兵中佐　フランシス・リカレーナ
支那步兵中校　開春榮
西班牙少佐　ドンイエレラテラはサ
露西亞步兵大尉　オンポフ
佛蘭西步兵大尉　ドラボマレード
和蘭步兵大尉　ケーエルローゼンダール

▽多々良濱邊の決戰
第三日＝南軍の壓迫＝北軍の退却
、錦旗立花山下に飜る

大演習第三日の御野立所は博多の東北一里餘の下原に選定されたり同地は三方に福岡平野の田所を臨み北方は立花山高く蒼空に聳え千代の松原西公園の勝景一帶の風光より博多市街一眸の裡に在り御野立所には赤白の統監旗と赤地錦の

▲天皇旗飜々 として秋風に飜り仰ぎ拜するも勇し　大元帥陛下には十三日午後二時御野立所に著御カーキ色の天幕の側に卓子を備せられ上原參謀總長の地圖に依つて戰況を奏上するを聞し召さる折柄南軍の飛行機は北軍小原中將の率ゆる廣島第五師團の位置を搜索せん爲め御野立所の空を掠めて爆音勇ましく北に去れり續いて南方太宰府の方面に當つて殷々たる砲聲遙かに聞ゆる間もなく柴勝三郎中將の久留米第十八師團は廣濶なる畑地を蹶進し來る豆を煎るが如き小銃の音淺々たる

▲機關銃の響 勇ましく多々良濱邊の平野は皺哉の光颯々たる秋風に映發して烈日の如く輝けり大元帥陛下には福岡平野を躍進する南軍一個師團の壯快なる戰鬪振を觀させられ上原參謀總長を顧み給ひて時々御下問あり御靴の拍車秋日に映じ御稜威いとも神々しく拜し奉れり伏見、閑院兩宮殿下も亦双眼鏡を御手にいと御熱心に戰況を御覽遊ばさる之れより先き南軍司令官大迫大將は北軍主力の所在地不明なるを以て遂に意を決し先づ博多に向つて

▲威力偵察を 行ひしが意外にも北軍は東北方多々良川左岸に其の陣地を占領し居るを發見せし爲め直に御野立所を中心として展開せる十一個師團の兵を側面に轉じ機關銃隊は此の機に乘じて進出し北軍の側面を猛射せり之れが爲め北軍小原中將の廣島第五師團の前進部隊は一敗地に塗れおぞくも敗北す折柄飛行機は爆々たる音を立てゝ縱橫に飛翔し壯快極りなし想起す正平の昔菊池武光逆賊足利の

▲六軍を剿滅 せし事を、今此の地に稱はせらる今昔の感に堪へざらんや時に蒙古來襲に其名も高き今津の邊の觀の群衆は平野を埋めたり此の日御野立所に於ける御前講演は後備役陸軍步兵大佐の文永弘安の役蒙古襲來の史跡に關する講演にして大元帥陛下には親しく模型圖に依り當年の激戰の狀況を聽こし召され午後二時御還幸あり（十三日午後二時五十六分下白井にて金谷特派員發電）

▽南軍飛機故障

南軍飛行機第二十四號機は中澤中尉操縱後藤大尉同乘十三日午後零時十分久留米練兵場より雛飼隈に向つて飛行すべく離陸したるに機體に故障を生じたるため著陸せんとする際誤つて松の樹に引き懸り機の左翼を破損したるが幸にして搭乘者には異狀なかりき（十三日午後四時二十分福岡にて金谷特派員發電）

▽最後の御統監
勅語を賜はるべし

大元帥陛下には十四日永町博多驛御發輦筵從聚線原町にて最後の御統監あらせられ午後一時御講評場に御臨幸の勅語を賜はり午後三時大本營に還幸遊ばさるゝ御豫定なり（十三日午後四時三十分福岡にて金谷特派員發電）

▽大觀兵式

十五日午前福岡練兵場にて大觀兵式擧行午後は福岡築港埋立地にて大饗宴を賜はるべし（十三日午後四時三十分福岡にて金谷特派員發電）

●往て閻魔王に聽け
李氏以下に對する張作霖の死刑宣告

目下營業停止中の奉天興業銀行副頭取李氏外三名は金融攪亂罪として正式裁判を經ず張作霖自ら訊問したるが其の際張は開聲一番『汝等は盡く人なり今吾れ一物を汝等に與へん一物とは他なし死刑あり若し不服あらば往て之れを閻魔王に聽け』と直に死刑を宣告し十日死刑を執行せしが其の結果金融界大恐慌を來し昨今市場は休業の姿となれり（奉天特電）

●紳士に化けて
彌生遊廓を荒した曲者

住所不定の鐵工職松本新太郎(三五)は十月二十日知人なる富永某より羽織袴、中折帽を借著し紳士體に化け同夜龍山彌生遊廓不二廼家に登樓し敵娼を揚げて遊興したるも無一文の爲詮方なく借著の羽織を同町國武質屋に曲げ込みて遊興費に支拂ひ其後數日を經て又も同樓に登樓したる際女將より謝絕されたるも巧いことを並べ立てゝ遂に娼妓久子を敵娼として遊興したるも相變らず所持金なき爲め遂に五圓餘の遊興費を支拂ひ得ざる爲め告訴せられ新太郎は此程龍山憲兵分隊にて取調べの上檢事局へ送られたり

●兇賊逃走を企つ
警官重傷を負ふ

忠南唐津警察署管內駐在所勤務林巡查補は十三日午前強盜犯人一名を本署に護送の途中件の賊は隙を覗ひ不意に巡查補に打つて蹴り逃走を企てたるより茲に格鬪を初め林巡查補は頭部其他に重傷を負ひたるも遂に逮捕して任を完ふしたるも頗る重傷にて危篤なりしと（特派員發）

●女房を賣る

京畿道楊州郡眞乾面梧南里朴三億(三七)同里李範承(四〇)の兩名は共謀し三億が獨身なるより妻となすべき女を搜し出さんと本年六月中京城に來り南大門外の某宿屋に長島郡生れの尹坂千(四八)なるものが其長女福蝶(二三)と共に宿泊中なるを探知し坂千に對し娘を是非妾の妻に迎へたし家には相應の財產ありと甘言以て欺き遂に契約二通を交付して福蝶を連れ歸り遂に本年舊八月七日同女を楊州郡檢面金谷里の柳數茂に金二十六圓を以て賣却し其身代は兩人にて分配消費したるを發覺し此程京城分隊に檢擧されたり

●大勢で袋叩き

江原道淮陽郡長揚面末輝里尹敬甫(二八)崔鍾寅(二二)朴興實(三〇)金炳樂等は廿五日夜同面並伊武只里具德文方にて忠北堤川郡生れの崔炳天(三五)と共に飲酒中言葉の行違ひより總立ちとなり崔炳天一人を前記數人にて袋叩きとなし即死せしめたること淮陽憲兵分隊の探知する所となりて加害者全部逮捕の上目下嚴重取調中

●留置場に來る女
萬引―獨身の女、夫のある女　―1―

鐵の戶とでも云ひたいほど嚴しい扉一重を隔てた留置場―警察署や憲兵隊の留置場は全く別世界である、錯々たる劍佩の音、憂々たる靴の響もこの重々しい扉を潜つて聽くと惡魔の叫びよりも怖ろしいといふ。その留置場に投り込まれる刑事被告人は年中絕れた事が無い、警官の

▲嚴重な監視 を受け、格子窓の隅い薄暗い留置場の中に自由を拘束されてゐる被告人の內京城を除く各地の警察署を通じて之を內地各都市の警察署に比較すれば女の被告人は甚だ寡いといふことである。併し京城界隈であつて留置場に集つて來るいろ〳〵の女といふことに就て其筋の人々の話を聞いて見ると京城では內地人の女の犯罪者が極めて尠い、偶に留置場に入つて取調べを受くるものは大抵竊盜犯人であるが竊盜も兇器を携へて押込んだものは殆んど無く申合はせたやうに萬引泥棒である

▲眼も眩む樣 な吳服屋の店頭や、若い女の虛榮心を挑發させる化粧品雜貨店等が萬引女を引付ける唯一の場所である、京城で是迄萬引をやつた女は大抵夫や子供を持つて居る一家の主婦が多く、獨身の娘で竊盜を働いたものゝ例は極めて少い是等有夫の女の萬引犯人の家庭は大抵相當な生活であつて生活に困るから竊むといふのではなく、全く虛榮心の勃如に基因して我知らず罪を犯すものが多い、年齡から見ても

▲二十歲から 三十歲の間の女が最も多く、時には官吏などの妻もある、其他留置處分を受くる重なる女としては密淫賣婦と、女博徒とである、本年の夏、本町警察署が私娼撲滅の爲め市中の曖昧屋を一齊に驅り立てた際の如きは留置場は殆ど埋れた事が有つた

●過つて撲殺す

京畿道江華郡阿站面倉後里林源祚(三六)方に滯在中なる同郡西寺面貞火里生れの鍛冶職林京三(二九)は十月十八日夜酩酊して夜半起き上り水を飲まんと同家の炊事場を迷路つき廻り居るを林源祚の妻が發見し賊の侵入したるものと誤認して家族を呼び起したる爲め源祚及び長男泰錫(二二)の兩名が起き上り有合せたる棍棒を以て京三を亂打し遂に死亡せしめたるが急報に依り江華警察署にては兩名を引致し目下嚴重取調中

●大賊の判決

去月三十一日釜山草梁瀛洲洞の鮮人家屋內に潜伏中釜山署の刑事と格鬪の末遂に逮捕せられたる前科數犯の強賊原籍山口縣豐浦郡勝山村生れ吉村直治(三)は去る明治四十二年十二月京城地方法院に於て竊盜罪として懲役五箇月に處せられたるも丁年未滿且の初犯なりし爲め執行猶豫の恩典を與へられたるも改悛の情無く竊盜を働き翌四十三年二月同法院に於て懲役二年六箇月に處せられ滿期出獄するや滿洲に到り又々竊盜罪を犯し大正二年旅順地方法院に於て懲役八箇月の處分を受け出獄後大正三年京城へ舞戾り惡事を働き同年九月十日同地方法院に於て懲役二年六箇月罰金五十圓の刑に處せられ本年九月漸く出獄し同月廿六日釜山に來り十月十一日夜大廳町岩村方の錠前を捻じ切りて忍び込み衣類雜品價格四十餘圓を竊取したるが市內數箇所にて竊取したる衣類雜品價格五百圓以上に及びしものにて去る十一月釜山地方法院にて審理の末懲役七年に處せらる（釜山）

●放蕩から竊盜

自稱和歌山縣那賀郡龍門村生れ鍛冶職井上滿太郎(二五)は元平壤黃金町稿田鐵工所の職工なりしが怠け者にて常に賑町遊廓に入浸り居るより主人も見込なしとて解雇したるに滿太郎は八千代町鮮人旅館金元鏞方へ十月十七日より二十六日迄宿泊し宿泊料を踏倒して逃走し同夜本町伊藤鐵工所に忍び入りお召女袷一枚外二點價格三十五圓の物を竊取し賑町大島樓に登樓し全部費消し停車場附近の鮮人家に潜伏中を平壤署の刑事に取押へらる（平壤）

●猩紅熱

京城義州通一丁目西大門小學校一年生吉野みよ子(八)こは十二日宮地獸醫診斷の結果猩紅熱と判明し即日自宅及び西大門小學校に對しては嚴重なる消毒を施し患者は入院加療中

●狂犬

十二日京城大和町二丁目老人亭附近を狂はしき一疋の犬が徘徊し居るを本町署の警官が認め直ちに繫留せしが飼主なき野犬と判明し獸醫診斷の結果狂犬と確定したるが間もなく斃死せり

●小兒の溺死

仁川署管內永宗面三木里農李聖一二男李良實(三)は去る十一日正午頃保護者なく自宅附近にて遊戲中誤つて共用井戶に墜落溺死したるを程經て祖母黃氏が發見し大騷ぎを爲したるも後の祭り死體は例に依り檢視の上實父に引渡さる

●高木病院新築祝

仁川仲町高木病院にては十二日午後六時より自宅に於て仁川の重立ちたる官民百餘名を招待し盛大なる新築落成の祝宴を催したり

えんげい

△浪花節 はし本川柳一座の京濱語一行は十一日より市兵衞座にて開演中なるが川柳等の純江戶式の語り振が好評にして初日以來十二日夜の四日目まで大入續きにて一座大車輪の由尚六日目十四日夜の出し物左の如し
△伊勢めぐり(勝造)△正月デツチ(縣遊)△富士登山(しらく)△初天神(鶴蔵)△踊り味噌豆(宮三郎)(代脈)(夢輔)△三助(橘松)△双裏(かるロ)△櫻風呂(市兵衞)△吾妻風の神(鷲之助)△癪讀し(川柳)
△稻荷座 大阪落語三升家紋右衞門一座にて開演中
△壽館 浪花節東洋軒雷右衞門一行にて開演中
△黃金館 十四日より差替の新寫眞は左の如し△滑稽悲劇從軍△貧乏丁抹の海軍△探偵活劇郵四黑い箱△新派悲劇渦巻く浪

物品拂下廣告
一、護謨ホース及タイヤ類
右來ル拾壹月拾五日午後壹時京城稅關出張所ニ於テ入札賣却ス
大正五年拾壹月拾參日　仁川稅關

京日案內
普通一回(五十錢一行十四字詰)　番外(六十錢一回)
▲申込後中途掲載中止の節は料金返戾せず

▽流行歌・浪花節等色々新版著荷　本町二●電二五二七●ウツボヤ書店 591
◎店員入用　京城吉野町一丁目九一　藥商漢陽堂 709
▲外勤員特別優待懸賞募集　京城若草町百六番地　銀國公債株式會社京城總代理店　西村商會 708
◎藥劑師雇はれ度年廿三　御報參上　姓名在社　病院又藥店 698
男女外交員募集　月收金五十圓確實　希望者は履歷書携帶本人來談あれ(姓名在社) 696
◎看護婦及見習生數名採用す　希望者は本人直接來談　旭町一丁目　中央婦人病院 687
◎貸家　温突付日本建五間半　官吏別莊向　三坂通練兵場上　畑中 605
◎寫眞○開業五周年紀念大割引の上活動寫眞入場券進呈○天長節より　黃金町電話一四三四　高等寫眞舘 616
有給外交員招聘　但高官吏望む　京城永樂町二の七　五十友合資會社　福德生命保險會社 691
內古材板蘗建具賣買ン其他何でも不用品高く買ます　京城太平通二丁目八九　原田古物店 692
番外　貸金　土地家屋抵當物品持込信用　方大小に拘らず貸借據月掛日掛右官吏商人　候御報參上極秘至急に取扱申可　二ノ五五壽町一丁目通角　京城本町　柏屋 714
二十歲位と十三四の力行的少年を求む夜間勉學の自由を有すべし　丁藤辯護士 704
狂犬病豫防液無料注射　入院隨意　京城明治町一丁目　小川家畜醫院 703
通信占　極めて文明的占法なり御婦人にも能く分る　說明書送る葉書にて申込あれ　京城明治町　介石堂 712
通信占　極めて文明的占法なり御婦人にも能く分る　說明書送る葉書にて申込あれ　京城明治町　介石堂 711
通信占　極めて文明的占法なり御婦人にも能く分る　說明書送る葉書にて申込あれ　京城明治町　介石堂 710
家兎　種兎　仔兎　販賣　西大門外阿峴里電話一八五番　蘆田養兎園 705
貸金　信用にてたやすく秘密にて御かしいたします　本町四丁目南へ一丁入右側　京城大和町二丁目三十番地　山田 706
易　觀相　見料隨意　每日十名限　依賴應　永樂町一の九　均陵庵 707
▲博多名產千代アゴ著荷　博多屋號　安藤商店 702
◎京城黃金町一丁目電話二五一八番　京城春川間行自動車賃金片道四圓每日午前八時出發　◎南大門通一丁目電話二一九番　廣橋自働車　京春主務　30組

家具木取　販賣注文は圖面送　內地材製材乾燥　付次第見積書進呈　鑛用材　鎹　釘　其他雜品各種　京城黃金町三井物產前　本明雜木製材所 585
礦物定量分拆　京城府太平通(朝鮮公論社左小路)　電話一三四四番　坂元分拆所 655
賣地　南大門通漢湖農工銀行隣　三十坪餘　喜多金光堂　京城黃金町二丁目電話一〇一五番 671
筑前琵琶教授　橘流　出張教授應ず　京城壽町十三ノ一　江頭旭米 679
吳服業に經驗有る廿二三の者一名月給金五圓以上十五圓位十五六歲の小僧二名月々手當を給す希望者履歷書送れ　江原道春川邑內　大和屋吳服店 688

強胃消化錠　八木田博士　島田博士　御處方　御鑑查
新式壓搾錠劑
本劑の特色
大阪市東區上本町五丁目　田畑保藥房

落花生買入　釜山辯天町　福榮商會　海外輸出部　電話長一三三九番

品質本位　九重香油
賣捌所は京城各化粧品店雜貨店にアリ
大阪東京　川崎製
九重油　梅花油　特約代理店　京城本町　夏川商店　電話一二八五番

萬病感應丸
登錄商標　目まいたちくらみ　腹いた　急病、流行病の特效藥
本舖　大阪　正野法橋玄三　江州
販賣店は全國至る所藥店に有り

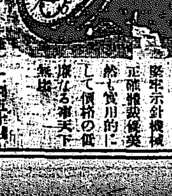
廢業廣告
小生從來當地に於て土木業營み居候處都合有之今般廢業致候間御禮旁々謹告候也
但し目下請負に係る工事は出張所を廢し竣工次第撤去の筈に候
京城府榮町六番地　小林長兵衞

模範　純粹培養　牛乳　ヨーグルト
場主獸醫　採正太
京城蓬萊町四丁目　東亞牧場（電話三五二番）

FAMILY.HOTEL　ファミリーホテル
市內四通八達の場所土地高燥眺望絕佳
庭園廣く閑靜の地
佛蘭西料理調進
客室食堂完備
宴會は特に御便利に取計可申候
ミセス・ポーエル改
京城南大門通三　電話一二八番

專門　印半天　洋服丸染
化學應用　若宮染工場
京城魚市場隣（電話二八五七番）
特に厚司襟は三本一組八十錢にて染上仕候

最上　鶴　醬油
京城府龍山元町　關西商會醬油釀造所　電話龍山三七九番



新荷著　スイス製懷中時計
堅牢示針機械正確雅致優美然も實用的にして價格の低廉なる事天下無比
ニツケル側十八形（片蓋）　同十六形　同十四形　同十七形　ラヂユーム付（ニツケル側十八形）　金鍍金十六形（片蓋）　金パリ十八形　同十年保險十六形　同十五年保險　銀側十八形　以上三百圓迄各種 [illegible]
右は今回新著の商品にて御當地にては未曾有の安價なり御店に無き所のもの伏して御注文に應じ御便利に候御地方の御注文は代金引換小包便にて御送付申上候
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國直輸入商
本店　京城本町二丁目電話九七番　イングレツシー商會

女鳩 渡邊默禪

(一九五) 涙と涙

『住江、私お詫をするわ。眞箇に、濟まなかつたのね。こんな情ない思をさせて……全く私の罪よ。私の罪から出た苦みにお前を苦惱させたのよ。私、お詫をするからね。どうぞ堪忍して頂戴。ね、ね、住江。』

鳩子は把つた手を振つて、頭を給めに下から住江を仰見げながら言つた。その眼にはもう露が一杯に光つてゐた。住江は徐かに涙を拭いて

『お詫をするなんて、勿體ないことを被仰います。私しに何もお詫を遊ばす譯がないぢやございませんか。そして罪なと被仰いますが、貴女に何の罪がおありなさいます。私しが悲うなつたのは、決して貴女に御關係のあることではないので、みんな秀……秀子さまの故ですのに、貴女がその罪をお引受け遊ばす理窟がないではございませんか』

『いゝわ、爾うぢやないの。姉様の爲されたとには違ひないけれども、姉様にそんなことを爲せるやうになつたのは、みんな私が到らないからだわ。私さへ最つと確乎してゐれば、そんなとにならないのよ。だからね、住江。姉さまの罪ぢやない、私の罪だと思つて、どうぞ許して下さい。姉さまを怨ますに、ね』と

膝に手をかけて掬みを乞ふやうに言つた。住江は鳩子の口から悲慘な言を聞くのが門違ひをされたやうに意外でならなかつた。人の罪を自分に引承けるのも品にこそよれ、と其の優しい心持を汲取る暇もなく、只一途に怨めしく思はれた。不平であつた。が、そんなとは爭つたところが仕方がないと思つて

『どうして斯ういふ事を被仰るんだか、私しには分りませんが、まだ彼の方をお姉ね様と呼んでらつしやるのが、私しには失禮ですが耳障りです。あのお手紙を差上げました後のことは、鈴木さまからお聞きなさいましたでせう』

『あゝ、聞いたわ。私、お前に氣の毒で氣の毒でね。こんなになるまで凝然と我慢をしてくれたのも、私からあゝいふ返事を出したもんだから、夫を守つてくれた結果だらうと思ふと、眞箇に有難くつて〳〵。私涙が溢れてよ。お禮をするわ、住江此の通りよ』

と涙を啜りあげながら手を支いて稱々と顏を成られた時に、住江は心も亂々と嬉しくなつて、新たな涙が零するばかり蒼ばむ頭を上げ走つた。

『あら、何を遊ばすんです』いきなり其手を執つて肘に押つけながら『貴女さまから其の御一言を承はれば、私しは最う死んでも宜しうございます。私しの心が貴女様のお胸に徹るまではと、悲うして恥を忍んで、辛さを堪へて、我慢に我慢を仕切つて居たのでございました。その心が今といふ今、貫けました。私しは滿足に存じます。はい、何にも申しません』

悲う言ふ下から罌んだ夜著の上に體を抛して、その袖にしがみつきつゝ、顏を伏せて泣いた。鳩子も堪らなくなつて〳〵と涙に暇んでゐたが、軈て側へ摺寄つて背へ手をかけた。

『お前の眞心は、私一生忘れはしないわ。堪へられない辛い事を忍んで、苦しい犧牲にたつてくれて、主人の名譽と、それから一家の風儀を保護してくれた恩義は、私ばかりでなく、叔父さまも心から感謝してゐらつしやるのよ。さア、起きて頂戴。起きて私と一緒にあちらへ行つて頂戴よ』

『どちらに參るんでございます』

『お前の部屋があるぢやないか。彼處に寢床をうつしませうよ。ね。こんな汚ない所にゐなくたつて可いぢやないの。さ、歩けなけりや私が負つて上るわ。手をお出しなさいよ』

『いゝえ、私しは此處で結構でございます。強つて移れと被仰いますならどうぞ、あの秀……秀さま御自身で入らしつて、そして私の體を夜具とお搬び下さるやうに願ひます。でなければ何誰が何と被仰いましても此のお部屋から外へは一寸も動きますまい』

彼女は猶燃ゐるやうな怨を持續けてゐたのだ。

俳諧傚心

朝霧や馬糧を入れし桶の湯氣　青丘
朝霧や擬る鳥に谷深し　青丘
霧晴れて村社間近く鳥啼ける　久子
凶事報じに急ぐや山路霧迫る　久子
古城址や稲塚に酒壷忘れ汐　松亭
霧湧ゐ地辷りのせし山の峽　松亭
霧罩めて腕組の儘の測量師　雨芒
やゝさなげに大樹ゆさるゝ暮の秋　雨芒
行く秋やとても死ぬ兒に飲ます乳　蘆中子
朝戸あけて霧にある牛乳飲みけり　蘆中子
金佛の箔剝げて淋し稲の月　浩舟
頑に住める棚田の稲を一人刈る　浩舟
晩秋や暗く働く瓦工　たかし
漸々と霧降り居るや發電所　たかし
夕霧や鉄土落す地の響　田打夫
擔げ手す稲や明るく妻縫へる　田打夫

新刊紹介

▲日本一(十一月號) 副島博士の元老論、和田垣博士の慾外錄、福本日南の大阪陣、浮田博士の新商業道德論、教育研究等の外依例諧談、社會記事等豐富なり(十二錢東京市牛込區神樂坂通南北社)

▲漢籍國字解全書見本　無代東京市牛込區早稲田大學出版部

▲備美堂時報(十一月號)　無代大阪淀屋橋南詰備美堂

▲三句索引俳句大觀內容見本(新刊月報六九)　無代東京市神田區明治書院

▲東京藥種貿易商報(二四四)　五錢東京市日本橋區本石町四の一七共社

▲愛知縣商品陳列所報告(十月號)

●不詳名古屋市中區門前町共成

▲東洋皮革新誌(十月號)　十錢大阪市東區

▲茶業界(十一月號)　十錢靜岡市

▲ローマ字(十一月號)　二十錢東京市麴町區

▲戰友(十一月號)　七錢東京市麴町區飯田町二の五二帝國在郷軍人會

▲棊(十月號)　十八錢大阪市東區今橋五の一四因碩會

▲正則中學講義錄(三學期の三)　東京市神田區駿河臺袋町大日本國民中學會

▲トモダチ(十二月號)　十二錢東京市麴町區富士見町一ノ二

▲國柱新聞(一五八)　七錢東京市

▲商業法律(七一)　六錢東京市下谷區

▲運友(十一月號)

▲勞働及産業(十一月號)

▲現代之科學(十一月號)

▲科學世界

▲實業界(十一月號)

▲拓殖新報

▲日本印刷界

▲兒童研究(十一月號)

▲衛生新報(十一月號)

▲文藝雜誌(十一月號)

▲東亞之光(十一月號)

▲都會及農村(農村振興號)

▲朝鮮銀行月報(七の九)

▲日本の關門(九州版)

▲殖民公論(創刊號)

●著者は最後の勝利者

商況

▲後場の手振

▲要能く買ふ

十二月限

一月限

新刊書御案內　大阪屋號書店

現代大家文章と修養

新しき命

生命の一路

神尾式速算法

日用化學工藝品最新製造法

心得て置く可き社交禮法　別府能吉　九〇

市町村名辭典　杉野耕三郎　一三〇

ロンブ死後の生命　中村古峽　一三〇

弱者の爲に　杉村楚人冠　一三〇

世間學　村上浪六　九五

家庭看護のしをり　吉岡彌生　一二〇

江戸俠客物語　九〇

湖畔の落人　六五

波　五〇

英文雜 育生活　伊知地純正　七〇

ペン數字練習帖　大阪屋號編　一〇

朝鮮公論 記念號　上三〇

京城本町二丁目　電話六八四・二〇八　振替京城二一五七三

淋小便治療好劑

本院長谷尾軍醫官苦心發表の新療劑は効力偉大全治の餘り續々奏效の實例多數あり手當服藥より導に續て不治再發の人も悲觀せず論より證據直に試みられよ詳細は僅かハガキで東京向島新小梅二長直營東京新療院藥品部へ申込め。

てんかん 々時で病

ヒキツケ困る方切手三錢送れ永年の病も自宅でなをす最善の良藥を教ゆ

名古屋市中區南小川町 救生館

梅毒 淋病

化學應用 自宅療法　簡易＝迅速＝經濟

無代進呈

東京市本所向島小梅町　東京藥化學研究所

眼科專門

京城明治町東拓横(電話二〇四四番)

江頭眼科醫院

日曜祭日午後二時迄

日韓書房　新版書

大正の前途

先生と生徒

大戰外交史

放浪漫記

牛

京城本町二丁目　電話一四五　振替口座一一五

內科 小兒科

京城日出小學校前

多々見醫院

入院隨意　電話九四〇番

株式會社第一銀行京城支店

京城本町二丁目(振替貯金京城一一番)

資本金　貳千百五拾萬圓

積立金　九百六拾五萬圓

頭取　佐々木勇之助

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

內地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

冬季傳染病に對し

アルボースは最必要品なり

御園四季の花

白粉を美しく附けるには、常に土臺の地肌を整へて置く事が必要です、化粧水御園四季の花は此點に別段の効能があります、即ち洗面後入浴後に用ひて、皮膚を柔軟に肌理を整へ、色艶を麗しく、肌荒れ一切を防ぐに無類の化粧料です

(定價 金二十錢 金五十錢)

本舗 伊東胡蝶園

發賣元 丸見屋商店

(33)

壯健なる身体を得るには今直ぐ御使用あれ

品質と價格で大評判

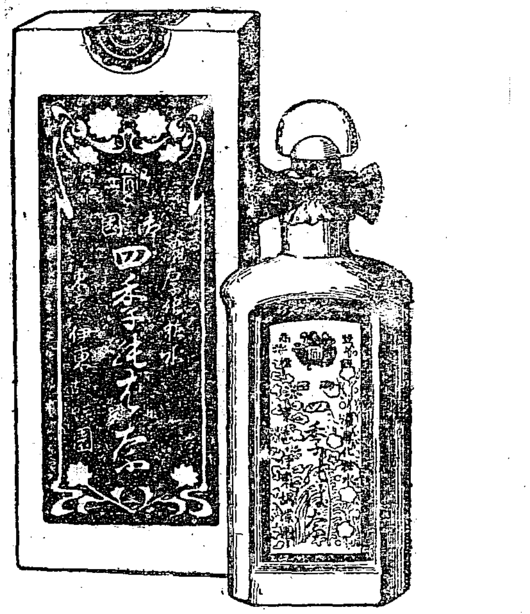
製造元 三田土ゴム製造合名會社

發賣元 大阪唐物町 飯田商店

富の道しるべ

山縣五十雄 村上唯吉共著 價十五錢 郵稅二錢

京城日報社代理部



汽船釜山出帆廣告

門司、神戶、大阪行　十一月　日後五時出帆

立神丸　十一月　日後五時出帆

小倉丸　十一月　日後十時出帆

元山、清津、浦鹽行

立神丸　十一月　日後四時出帆

小倉丸　十一月　日後四時出帆

元山、西湖、新浦、城津、清津行

第三琴平丸　十月　日後六時出帆

門司、宇品、神戶、大阪行

第三琴平丸　十月廿八日後六時出帆

佐須奈、嚴原、壹岐、博多行

天眞丸　每月二日、九日、十四日、廿一日、廿六日　午後十時出帆

本船取扱店　大池回漕部

金泉醴泉間自動車時間

金泉鐵原自動車支部

日本郵船仁川出帆

大連、太沽、牛莊行

攝津丸　十一月十二日　未明出帆

高砂丸　十一月廿日　未明出帆

三河丸　十二月一日　未明出帆

仁川港町　堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神阪行

大有丸　十一月二十日後四時出帆

秀吉丸　十一月廿六日後四時出帆

君か代丸　十一月廿八日後四時出帆

神代丸　十一月十八日後四時出帆

仁川海岸通一丁目　高杉回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

芝罘、大連行

第六共同丸　十一月十二日入港　十三日正午出帆

阿波共同汽船株式會社

仁川代理店　野口商會

朝鮮郵船

京城南大門驛前　松原運送店

全羅丸　十一月　日　釜山發

京畿丸　十一月二十六日　釜山發

黃海丸　十一月　日　釜山發

成鏡丸　十一月廿三日

稔城丸　十一月十六日　元山發

昌平丸　十一月二十三日　元山發

鏡城丸　十一月　日　元山發

第二鎮旗丸　十一月　日　元山發

平安丸　十一月二十一日

忠淸丸　十一月廿一日

江陵丸　十一月　日　釜山發

襄陽丸　每日　浦項發

三浦丸　十一月　日　釜山發

海州丸　十一月　日　釜山發

統營丸　十一月　日

順天丸　十一月二日　木浦發

慶興丸　十一月十四日　木浦發

慶興丸　十一月　日　木浦發

公州丸　十一月十六日　木浦發

宗信丸　十一月　日　仁川發

江原丸　十一月十八日　仁川發

麗水丸　十一月　日　仁川發

晉州丸　十一月十七日　仁川發

全州丸　毎日午前　仁川發

南陽丸

大阪商船仁川出帆

群山、木浦、釜山、門司、神阪行

安東丸　十一月廿三日

漳州丸　十一月二十日後五時出

天草丸　十一月廿八日

木浦、釜山、嚴原、鄉の浦、長崎行

信濃川丸　十一月廿五日

淸州丸　十一月十三日正午出帆

群山、釜山、橫濱行

福州丸　十一月十九日後二時出

鎭南浦、神戶、大阪行

天草丸　十一月十七日正午時出

群山、神戶、大阪行

須磨丸　十一月十五日後四時出

鎭南浦、大連行

信濃川丸　十一月廿日後二時出

信濃川丸　十二月八日

鎭南浦大連行

鎭南浦丸　十一月廿二日正午出帆

廣州丸　十一月　日

鎭南浦行

濟州丸　十一月十六日正午出帆

淸津、城津西湖津へ寄港

印城津丸　十一月十六日後二時出

安平丸　十一月廿一日

宮島丸　十一月　日

上海、基隆、打狗行

基隆丸　十二月一日午後四時出

湖北丸　十二月　日午前六時出

京城切符發賣所　大阪商船會社仁川支店